

2024年1月29日

報道関係各位

 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
 広報サステナビリティ推進部：岡田、平、田中
 (問合せ先:03-6887-1274)

20代の金銭感覚についての意識調査 2024

20代の貯蓄額 平均 56 万円、前回調査から 8 万円減少

「老後の生活資金は年金だけでは不十分だと思う」90.7%

「新しい NISA(新 NISA)」を利用する予定がある」30.5%、20 代後半男性では 44.0%

人生を楽しむために一番大切にしたいと思うものは？ 1 位「家族」2 位「趣味」3 位「恋人・パートナー」

20 代前半男性の 1 位は「恋人・パートナー」、20 代後半男性の 1 位は「趣味」「お金」、

20 代前半女性の 1 位は「恋人・パートナー」、20 代後半女性の 1 位は「家族」

「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」21.8%

「セミナーや学校・職場で「金融知識」を学んだことがある」32.7%

学んだことがある「金融知識」 1 位「資産形成・資産運用」2 位「お金のトラブル」3 位「キャリア形成」

「経済面の健康状態」を 100 点満点で自己採点すると？ 平均は 46.7 点

金融リテラシーのレベルが高い人ほど日常生活や仕事に対する満足・フィナンシャルウェルネスを実現する傾向に

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社(代表取締役社長:金子 良平、<https://www.smbc-cf.com/corporate/>、サービスブランド「プロミス」)は、2023年12月13日～15日の3日間、20歳～29歳の男女を対象に「20代の金銭感覚についての意識調査2024」(*)をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効サンプルの集計結果を公開しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

*前回調査である「20代の金銭感覚についての意識調査 2023」は2022年11月に調査(2023年1月19日発表)しております。

- TOPICS -

【20代のお小遣い・貯蓄事情】 p.3～p.8

- ≫ 20代の毎月のお小遣い 平均 37,096 円、前回調査から 268 円増加 …p.3
- ≫ 20代の貯蓄額 平均 56 万円、前回調査から 8 万円減少 …p.4
- ≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」72.9%、20代後半女性では 80.8% …p.5
- ≫ 「老後の生活資金は年金だけでは不十分だと思う」90.7% …p.6
- ≫ 「老後が楽しみ」19.6%、前回調査から 3.0 ポイント下降 …p.6
- ≫ 仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できる？ 平均は 2,195 万円、前回調査から 153 万円減少 …p.7
- ≫ 「預貯金をしている」59.9%、預貯金している金額は平均 37,152 円/月 …p.8
- ≫ 「貯蓄型保険に加入している」14.6%、貯蓄型保険に払っている金額は平均 13,814 円/月 …p.8

【20代の消費意識と消費実態】 p.9～p.20

- ≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額 平均 39,665 円/月、前回調査から 3,592 円減少 …p.9
- ≫ 趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額 平均 19,027 円/月 …p.10
- ≫ 今年、お金を使ったもの・ことのうち、一度の支払い額が最も高額だったもの 1 位「旅行・レジャー」2 位「車」3 位「服」
支払い額の平均は「旅行・レジャー」170,159 円、「車」2,110,833 円、「服」49,211 円 …p.10
- ≫ 節約のために行っていること 1 位「貯めたポイントを利用」2 位「クーポンを利用」
「外食を控える」は前回調査 6 位から順位を上げ 3 位に …p.11
- ≫ ゲーム課金に対する意識
「お金を使ってでもゲームを有利に進めたい」12.3%、「お金を使わないと楽しく遊べない」18.1%、
「アイテム・キャラ入手のためのお金は惜しみたくない」15.8%、
「ゲームでレアアイテム・キャラを入手すると誇らしい気持ちになる」34.3% …p.12
- ≫ 「ゲーム課金をしている」15.8%、かけている金額は平均 5,138 円/月 …p.13

- ≫ 「ゲーム課金に後悔したことがある」男性の 28.2% …p.13
- ≫ サブスクサービスにかけている金額の全体平均は 1,768 円/月、前回調査から 215 円増加 …p.14
- ≫ 「現在、投資をしている」26.2%
ひと月あたりに投資に回している金額は平均 23,589 円、前回調査から 2,416 円減少 …p.15
- ≫ 「2014 年 1 月にスタートした“NISA”を知っている」74.4% …p.17
- ≫ 「2024 年 1 月にスタートする“新しい NISA(新 NISA)”を知っている」65.6% …p.17
- ≫ 「“新しい NISA(新 NISA)”を利用する予定がある」30.5%、20 代後半男性では 44.0% …p.17
- ≫ 「自己投資にお金をかけている」26.5%、かけているお金は平均 7,821 円/月 …p.19
- ≫ 「自分磨きにお金をかけている」60.0%、かけているお金は平均 8,672 円/月 …p.19
- ≫ 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」14.6%
かけているお金は平均 4,863 円/月、前回調査から 859 円増加 …p.20

【20 代のマネー意識】 p.21～p.26

- ≫ 「人におごりたくない」36.8%、「人からおごられたくない」26.5% …p.21
- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない」46.7%、「金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない」58.2%
…p.21
- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」61.1% …p.22
- ≫ 「幸せになるにはお金が必要」66.4% …p.22
- ≫ 人生を楽しむために一番大切にしたいと思うものは？ 1位「家族」2位「趣味」3位「恋人・パートナー」
20 代前半男性の 1 位は「恋人・パートナー」、20 代後半男性の 1 位は「趣味」「お金」、
20 代前半女性の 1 位は「恋人・パートナー」、20 代後半女性の 1 位は「家族」 …p.23
- ≫ 「これまでに自分の金銭感覚が変化したことがある」64.4%
変化したきっかけ TOP3 は「一人暮らしを始めた」「就職した」「クレジットカードを作った」 …p.24
- ≫ 夢や目標を実現するための費用の準備方法 1位「働く」2位「預貯金する」3位「投資する」 …p.25
- ≫ 「投資」「クレジットカード・ローンの利用」のメリット・デメリットの理解率 3 割未満にとどまる …p.26

【ライフイベントと収入事情】 p.27～p.29

- ≫ 20 代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収 600 万円」 …p.27
- ≫ 「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」21.8% …p.27
- ≫ 20 代の半数以上が 1 人目の子育てに前向きになるのは「年収 700 万円」 …p.28
- ≫ 20 代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは「年収 600 万円」 …p.29
- ≫ 20 代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは「年収 900 万円」、前回調査からハードルが上昇 …p.29

【20 代のマネートラブル経験と金融リテラシー】 p.30～p.39

- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」18.2%、経験した詐欺被害 1 位は「マルチ商法・ねずみ講」 …p.30
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」24.6% …p.30
- ≫ 学びたいと思う“社会の中で生きるための知識” 1位「資産形成・資産運用」2位「生活設計」3位「お金のトラブル」
…p.32
- ≫ 「セミナーや学校・職場で“金融知識”を学んだことがある」32.7%
学んだことがある“金融知識” 1位「資産形成・資産運用」2位「お金のトラブル」3位「キャリア形成」 …p.33
- ≫ これから学びたいと思う“金融知識” 3位「生活設計」2位「保険・リスク管理」、1 位は？ …p.33
- ≫ 「“経済面の健康状態”を 100 点満点で自己採点すると？ 平均は 46.7 点 …p.34
- ≫ 自己採点結果 “こころの健康状態”では平均は 49.7 点、“からだの健康状態”では平均は 56.1 点
経済面の健康状態が良好な人ほど心身の健康状態も良好という傾向に …p.34
- ≫ 「“金融リテラシーのレベル”を 100 点満点で自己採点すると？ 平均は 44.2 点、金融知識を学んだ人では 50.2 点
…p.36
- ≫ 自己採点結果 “日常生活に対する満足度”では平均は 52.2 点、“仕事に対する満足度”では平均は 47.9 点
…p.36
- ≫ 金融リテラシーのレベルが高い人ほど日常生活や仕事に対する満足・ファイナンシャルウェルネスを実現する傾向に
…p.36
- ≫ 金融知識についての理解度を 100 点満点で採点 平均は 54.2 点 …p.39

アンケート調査結果

【20代のお小遣い・貯蓄事情】

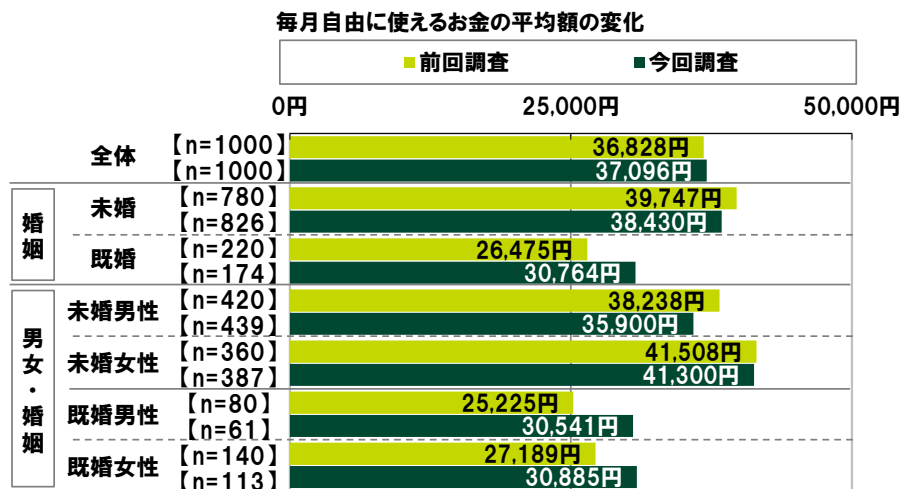
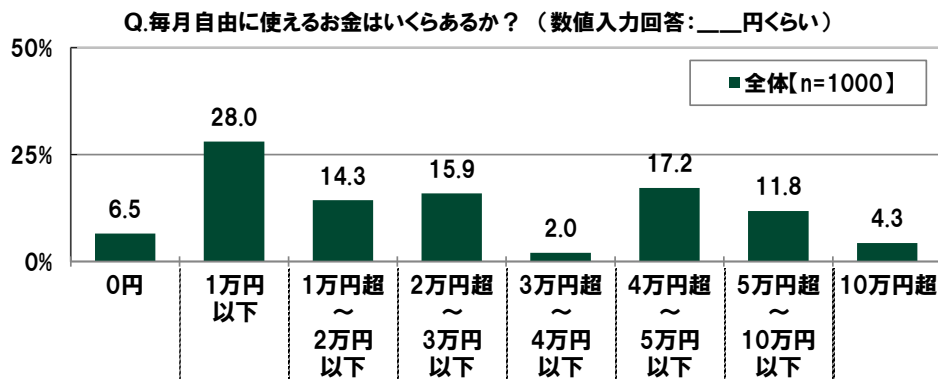
 ≫ 20代の毎月のお小遣い 平均 37,096円、前回調査から268円増加

全国の20歳～29歳の男女1,000名(全回答者)に対し、毎月自由に使えるお金はいくらあるか聞いたところ、「1万円以下」(28.0%)や「2万円超～3万円以下」(15.9%)、「4万円超～5万円以下」(17.2%)に多くの回答が集まり、平均は37,096円でした。

前回の調査結果(※1)と比較すると、毎月自由に使えるお金の平均は268円の増加(前回調査36,828円→今回調査37,096円)となりました。

婚姻状況別にみると、未婚男性では2,338円の減少(前回調査38,238円→今回調査35,900円)、未婚女性では208円の減少(前回調査41,508円→今回調査41,300円)となったのに対し、既婚男性では5,316円の増加(前回調査25,225円→今回調査30,541円)、既婚女性では3,696円の増加(前回調査27,189円→今回調査30,885円)と、未婚者と既婚者で対照的な結果となりました。

※1: SMBCコンシューマーファイナンス「20代の金銭感覚についての意識調査2023」より



≫ 20代の貯蓄額 平均 56 万円、前回調査から 8 万円減少

貯蓄状況について質問しました。

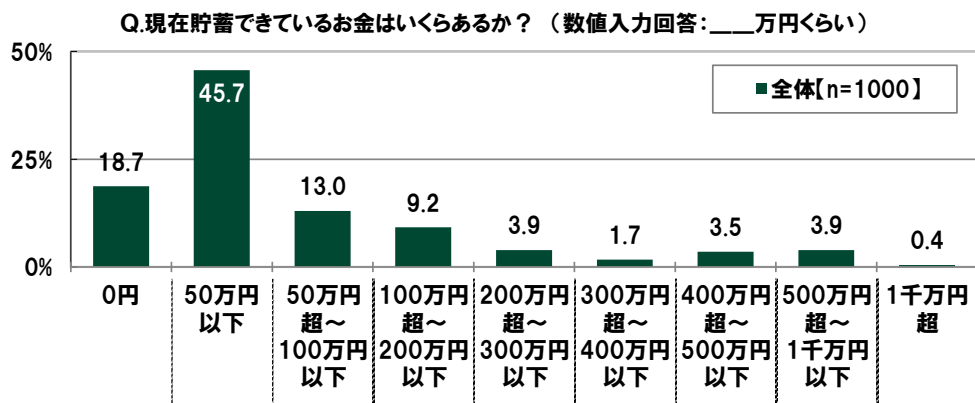
現時点で、どのくらいの貯蓄ができていくか聞いたところ、「50 万円以下」(45.7%)に最も多くの回答が集まったほか、「50 万円超～100 万円以下」(13.0%)にも回答がみられ、調整平均(※2)は 56 万円でした。また、「0 円」は 18.7% となりました。

前回の調査結果と比較すると、現在貯蓄できているお金の調整平均は 8 万円の減少(前回調査 64 万円→今回調査 56 万円)となりました。

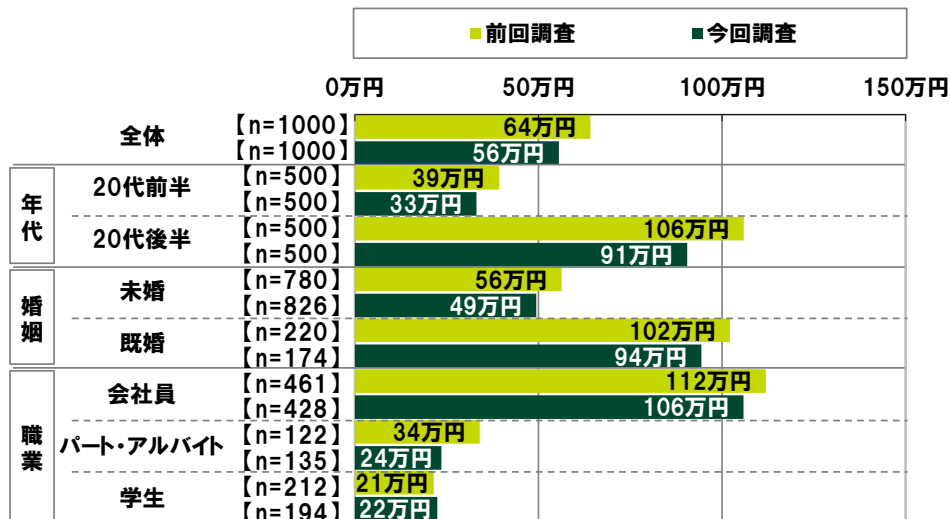
婚姻状況別にみると、未婚者では 7 万円の減少(前回調査 56 万円→今回調査 49 万円)、既婚者では 8 万円の減少(前回調査 102 万円→今回調査 94 万円)となりました。

職業別にみると、会社員では 6 万円の減少(前回調査 112 万円→今回調査 106 万円)、パート・アルバイトでは 10 万円の減少(前回調査 34 万円→今回調査 24 万円)となったのに対し、学生では 1 万円の増加(前回調査 21 万円→今回調査 22 万円)となりました。

※2: 当該設問では、上位数%のデータにみられた極端な値(貯蓄額が数億円など)の影響を除外するため、10%調整平均(上位と下位からそれぞれ 10%のデータを除外して算出した相加平均)を利用しています。



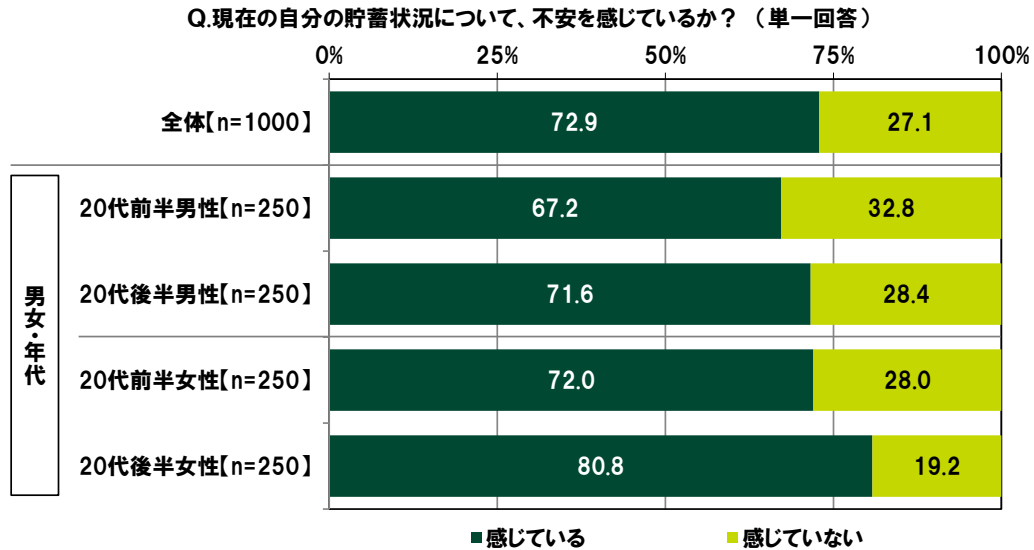
現在貯蓄できているお金の調整平均額の変化



≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」72.9%、20代後半女性では 80.8%

現在の自分の貯蓄状況について、不安を感じているか聞いたところ、「感じている」は 72.9%、「感じていない」は 27.1%となりました。止まらない物価上昇を受け、自身の貯蓄状況に対し不安を抱いている人が多いのではないのでしょうか。

男女・年代別にみると、不安を感じている人の割合は、20代後半女性(80.8%)が最も高くなり、8割を超えました。



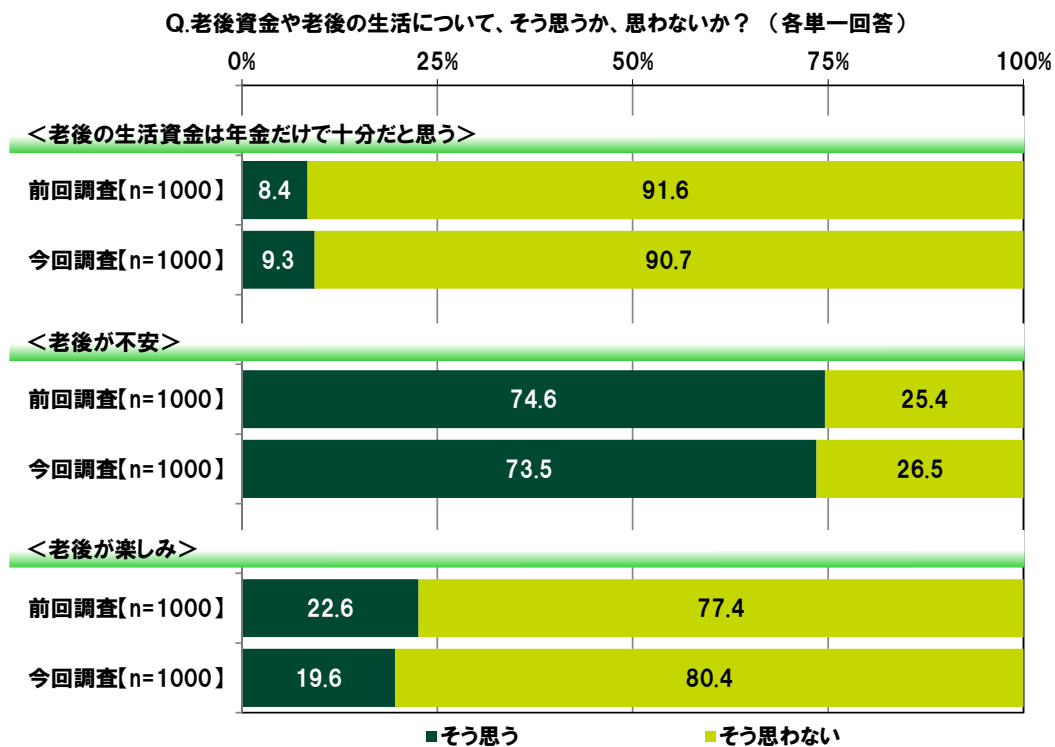
- ≫ 「老後の生活資金は年金だけでは不十分だと思う」90.7%
- ≫ 「老後が楽しみ」19.6%、前回調査から 3.0 ポイント下降

全回答者(1,000名)に、老後資金や老後の生活に対する考えについて聞きました。

老後資金についてみると、<老後の生活資金は年金だけで十分だと思う>では「そう思う」が 9.3%、「そう思わない」が 90.7%となりました。

老後の生活についてみると、<老後が不安>では「そう思う」が 73.5%、<老後が楽しみ>では「そう思う」が 19.6%となりました。

前回の調査結果と比較すると、<老後が楽しみ>では「そう思う」と回答した人の割合は、前回調査 22.6%→今回調査 19.6%と 3.0 ポイントの下降となりました。老後資金に対する不安の高まりなどを背景に、老後の生活に期待感を持ってなくなっている人が増えているのではないのでしょうか。



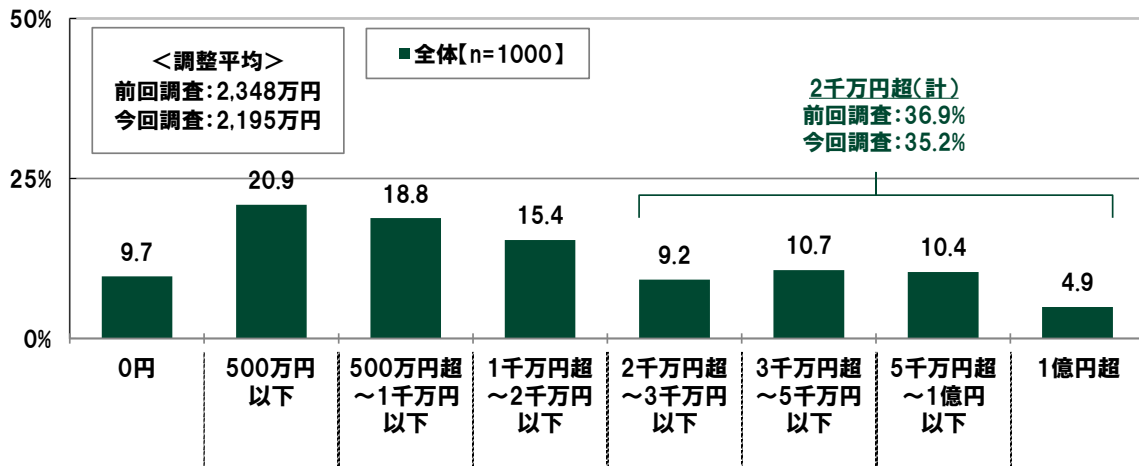
≫ 仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できる？ 平均は 2,195 万円、前回調査から 153 万円減少

続いて、リタイア時にあれば安心できる貯蓄額のイメージについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか聞いたところ、「500万円以下」(20.9%)や「500万円超～1千万円以下」(18.8%)、「1千万円超～2千万円以下」(15.4%)に回答が集まり、調整平均は 2,195 万円でした。

前回の調査結果と比較すると、リタイア時にあれば安心できる貯蓄額の調整平均は 153 万円の減少(前回調査 2,348 万円→今回調査 2,195 万円)となりました。

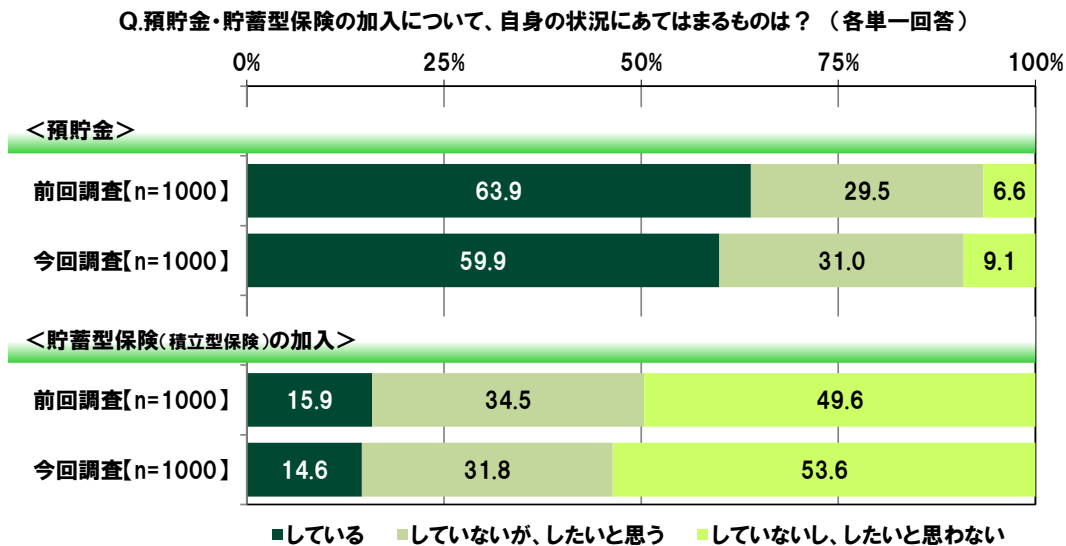
Q.仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか？
 (数値入力回答:___万円くらい)



- ≫ 「預貯金をしている」59.9%、預貯金している金額は平均 37,152 円/月
- ≫ 「貯蓄型保険に加入している」14.6%、貯蓄型保険に払っている金額は平均 13,814 円/月

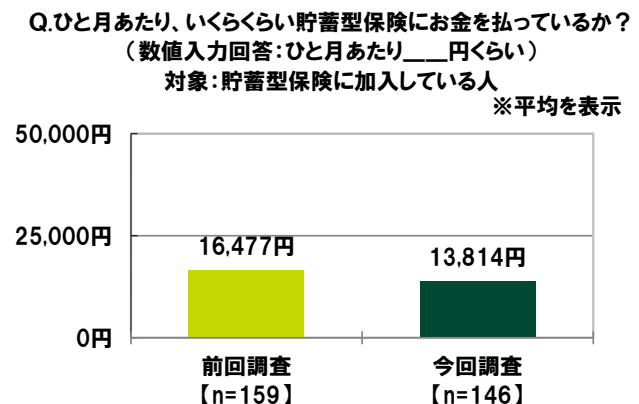
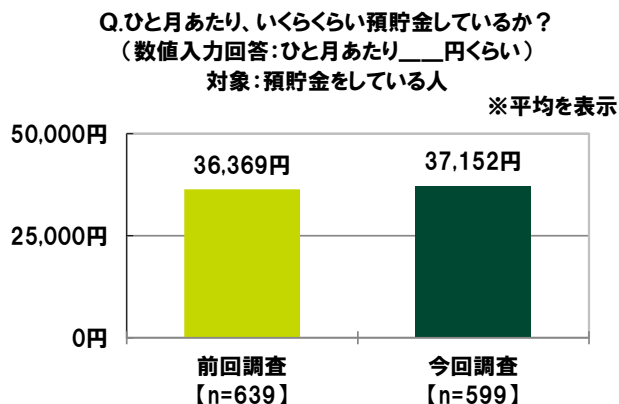
全回答者(1,000名)に、預貯金の状況、貯蓄型保険の加入状況を聞いたところ、<預貯金>では、「している」が59.9%、「していないが、したいと思う」が31.0%、<貯蓄型保険(積立型保険)の加入>では「している」が14.6%、「していないが、したいと思う」が31.8%となりました。

前回の調査結果と比較すると、預貯金をしている人の割合は4.0ポイントの下降(前回調査63.9%→今回調査59.9%)、貯蓄型保険にお金を払っている人の割合は1.3ポイントの下降(前回調査15.9%→今回調査14.6%)となりました。



預貯金をしている人(599名)に、ひと月あたり、いくらくらい預貯金しているか聞いたところ、平均は37,152円でした。また、貯蓄型保険に加入している人(146名)に、ひと月あたり、いくらくらい貯蓄型保険にお金を払っているか聞いたところ、平均は13,814円でした。

前回の調査結果と比較すると、預貯金している金額の平均は783円の増加(前回調査36,369円→今回調査37,152円)となったのに対し、貯蓄型保険に払っている金額の平均は2,663円の減少(前回調査16,477円→今回調査13,814円)となりました。



【20代の消費意識と消費実態】

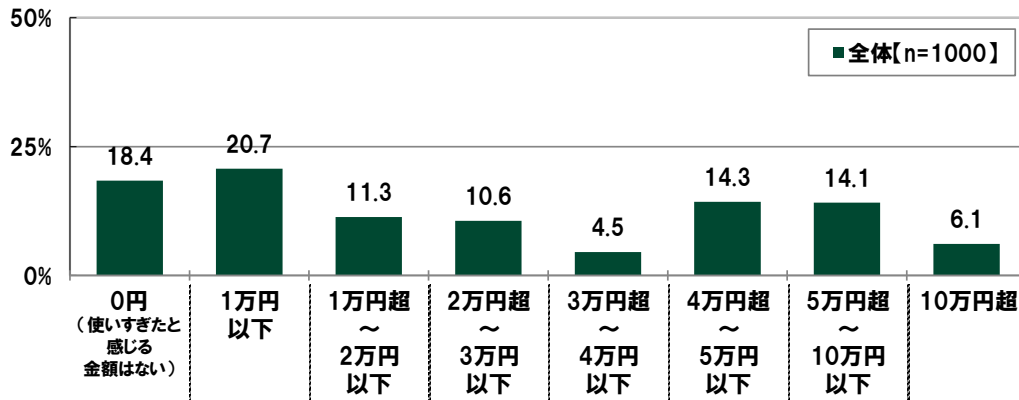
≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額 平均 39,665 円/月、前回調査から 3,592 円減少

全回答者(1,000名)に、自分が自由に使えるお金(お小遣い)を、1ヶ月間でいくらか使ったときにお金を使いすぎたと感じるか聞いたところ、「0円(使いすぎたと感じる金額はない)」(18.4%)や「1万円以下」(20.7%)、「4万円超～5万円以下」(14.3%)、「5万円超～10万円以下」(14.1%)などに回答が分かれ、平均は39,665円でした。

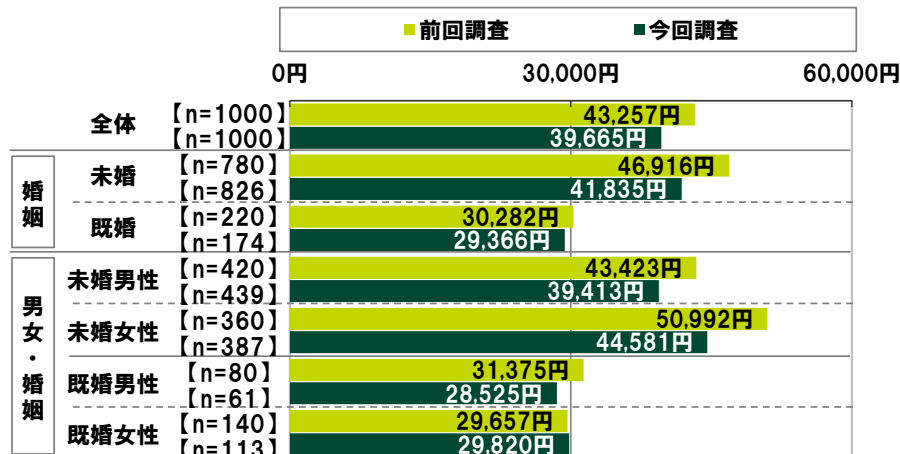
前回の調査結果と比較すると、使いすぎたと感じる金額の平均は3,592円の減少(前回調査43,257円→今回調査39,665円)となりました。

婚姻状況別にみると、未婚男性では4,010円の減少(前回調査43,423円→今回調査39,413円)、未婚女性では6,411円の減少(前回調査50,992円→今回調査44,581円)、既婚男性では2,850円の減少(前回調査31,375円→今回調査28,525円)となったのに対し、既婚女性では163円の増加(前回調査29,657円→今回調査29,820円)となりました。

Q.自分が自由に使えるお金を、1ヶ月間でいくらか使ったときにお金を使いすぎたと感じるか？
(数値入力回答:1ヶ月間で___円くらい)



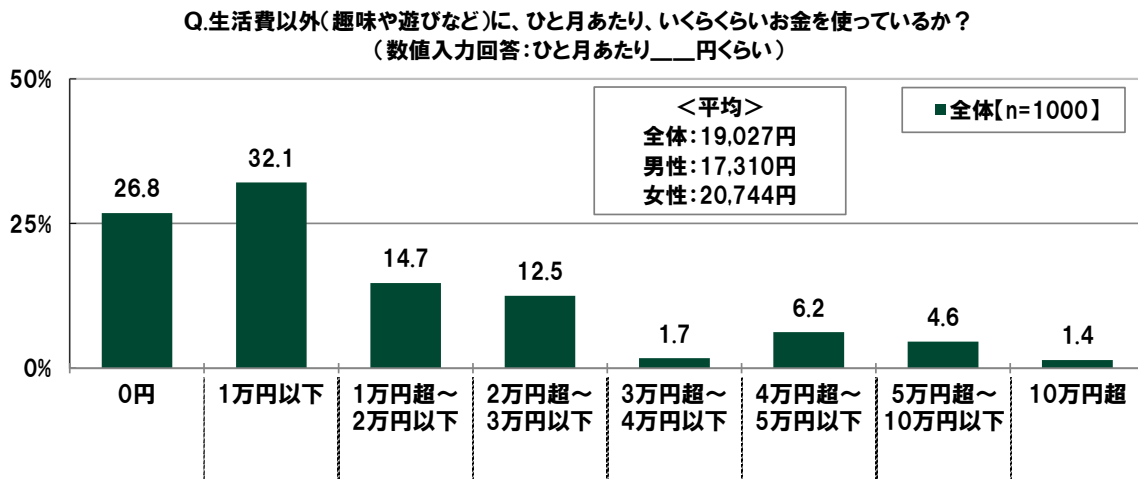
自分が自由に使えるお金を1ヶ月間に使ったときに使いすぎたと感じる金額の平均の変化



- ≫ 趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額 平均 19,027 円/月
- ≫ 今年、お金を使ったもの・ことのうち、一度の支払い額が最も高額だったもの 1位「旅行・レジャー」2位「車」3位「服」
 支払い額の平均は「旅行・レジャー」170,159 円、「車」2,110,833 円、「服」49,211 円

全回答者(1,000名)に、生活費以外(趣味や遊びなど)に、ひと月あたり、いくらくらいお金を使っているか聞いたところ、「1万円以下」(32.1%)に最も多くの回答が集まったほか、「1万円超～2万円以下」(14.7%)や「2万円超～3万円以下」(12.5%)にも回答がみられ、平均は19,027円でした。また、「0円」は26.8%となりました。

男女別にみると、生活費以外に使っている金額の平均は、女性では20,744円と、男性(17,310円)と比べて3,434円高くなりました。



今年、お金を使ったもの・ことの中から、一度の支払い額が最も高額だったものを聞いたところ、1位「旅行・レジャー」(75名)、2位「車」(60名)、3位「服」(57名)、4位「家電」(44名)、5位「エステ・美容(脱毛含む)」(39名)となりました。

支払い額の平均をみると、「旅行・レジャー」は170,159円、「車」は2,110,833円、「服」は49,211円、「家電」は161,682円、「エステ・美容(脱毛含む)」は179,256円でした。

Q.今年、お金を使ったもの・ことの中から、一度の支払い額が最も高額だったものは? (自由回答)

※上位10位までを表示

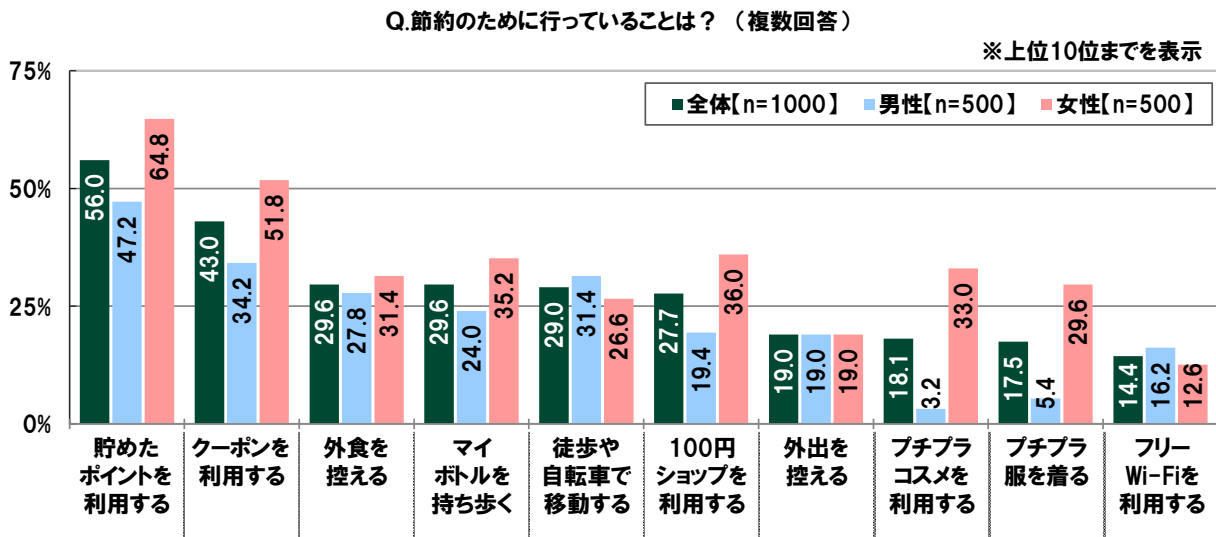
順位	全体[n=1000]	名	平均(円)
1位	旅行・レジャー	75	170,159円
2位	車	60	2,110,833円
3位	服	57	49,211円
4位	家電	44	161,682円
5位	エステ・美容(脱毛含む)	39	179,256円
6位	携帯電話・スマートフォン	37	106,141円
7位	靴	36	100,778円
8位	パソコン・タブレット	29	182,690円
9位	ゲーム	26	38,996円
	財布	26	63,923円

≫ 節約のために行っていること 1位「貯めたポイントを利用」2位「クーポンを利用」
「外食を控える」は前回調査 6位から順位を上げ 3位に

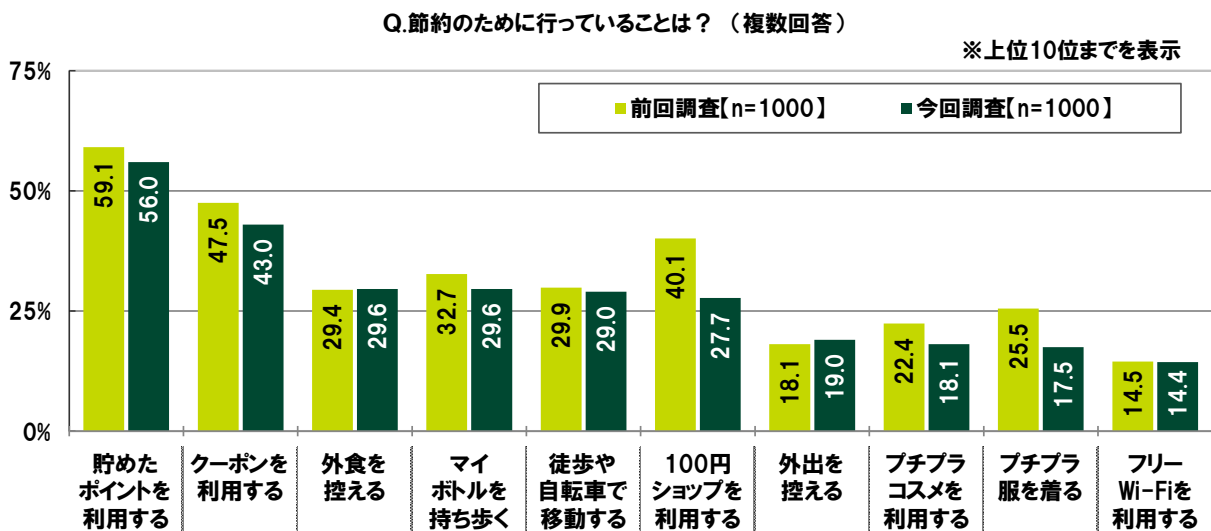
支出を抑えるための節約術について質問しました。

全回答者(1,000名)に、節約のために行っていることを聞いたところ、「貯めたポイントを利用する」(56.0%)が最も高くなり、「クーポンを利用する」(43.0%)、「外食を控える」「マイボトルを持ち歩く」(いずれも 29.6%)、「徒歩や自転車で移動する」(29.0%)が続きました。

男女別にみると、男性では「徒歩や自転車で移動する」(31.4%)、女性では「100円ショップを利用する」(36.0%)が3位でした。



前回の調査結果と比較すると、「外食を控える」は前回調査 6位→今回調査 3位と順位を上げ TOP3にランクインしました。止まらない物価上昇による家計への圧迫を受け、外食の頻度を減らそうと意識する人がいるのではないのでしょうか。



≫ ゲーム課金に対する意識

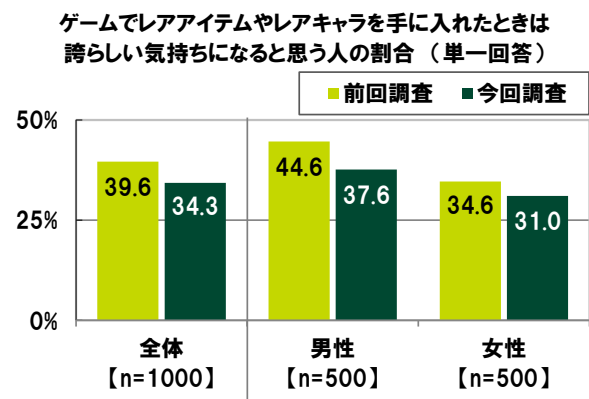
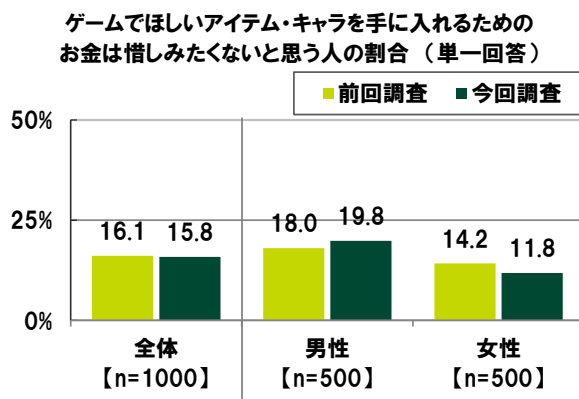
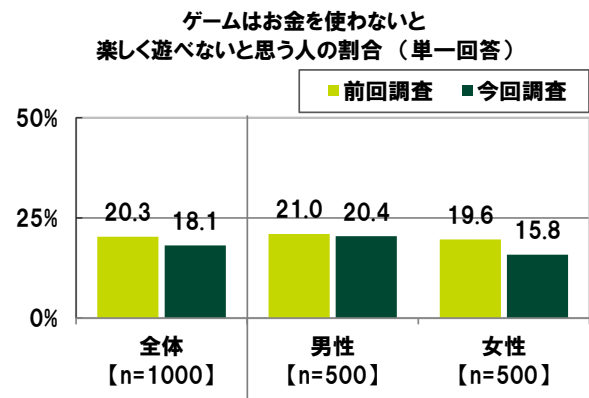
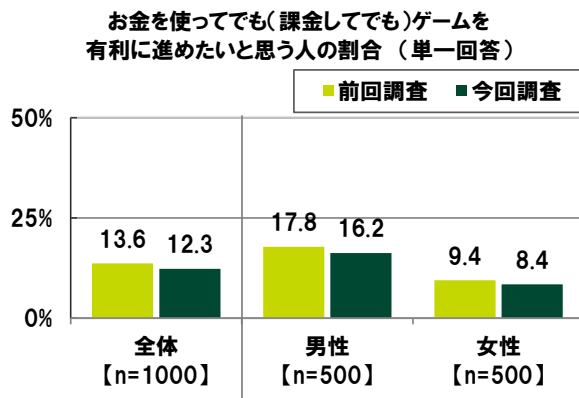
「お金を使ってでもゲームを有利に進めたい」12.3%、「お金を使わないと楽しく遊べない」18.1%、
 「アイテム・キャラ入手のためのお金は惜しみたくない」15.8%、
 「ゲームでレアアイテム・キャラを入手すると誇らしい気持ちになる」34.3%

全回答者(1,000名)に、ゲーム消費について質問しました。

まず、お金を使ってゲームをすることについて聞いたところ、<お金を使ってでも(課金してでも)ゲームを有利に進めたい>では「そう思う」は12.3%、<お金を使わないと楽しく遊べない>では「そう思う」は18.1%となりました。

アイテムやキャラクターの入手について聞いたところ、<ほしいアイテム・キャラを手に入れるためのお金は惜しみたくない>では「そう思う」は15.8%、<レアアイテムやレアキャラを手に入れたときは誇らしい気持ちになる>では「そう思う」は34.3%となりました。

前回の調査結果と比較すると、<レアアイテムやレアキャラを手に入れたときは誇らしい気持ちになる>で「そう思う」と回答した人の割合は、男性では7.0ポイントの下降(前回調査44.6%→今回調査37.6%)となりました。



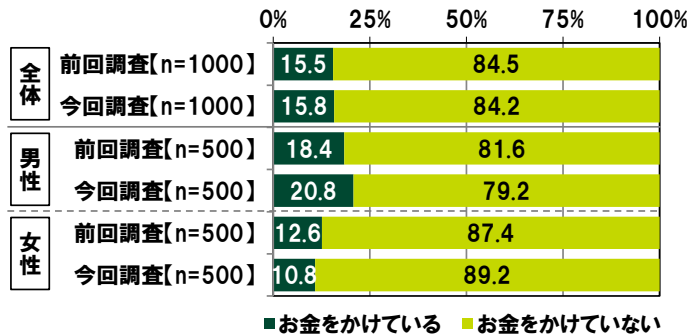
- ≫ 「ゲーム課金をしている」15.8%、かけている金額は平均 5,138 円/月
- ≫ 「ゲーム課金に後悔したことがある」男性の 28.2%

続いて、ゲーム課金(ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用)の実態について質問しました。

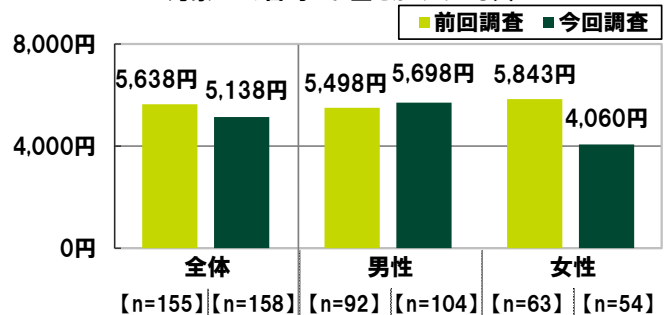
＜ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)＞にお金をかけている人の割合は 15.8%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 5,138 円でした。

前回の調査結果と比較すると、かけている金額の平均は、全体では 500 円の減少(前回調査 5,638 円→今回調査 5,138 円)となり、男女別では男性が 200 円の増加(前回調査 5,498 円→今回調査 5,698 円)となった一方、女性が 1,783 円の減少(前回調査 5,843 円→今回調査 4,060 円)と、女性がゲームにかける金額が大幅に減っている結果となりました。

Q.ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にお金をかけているか？



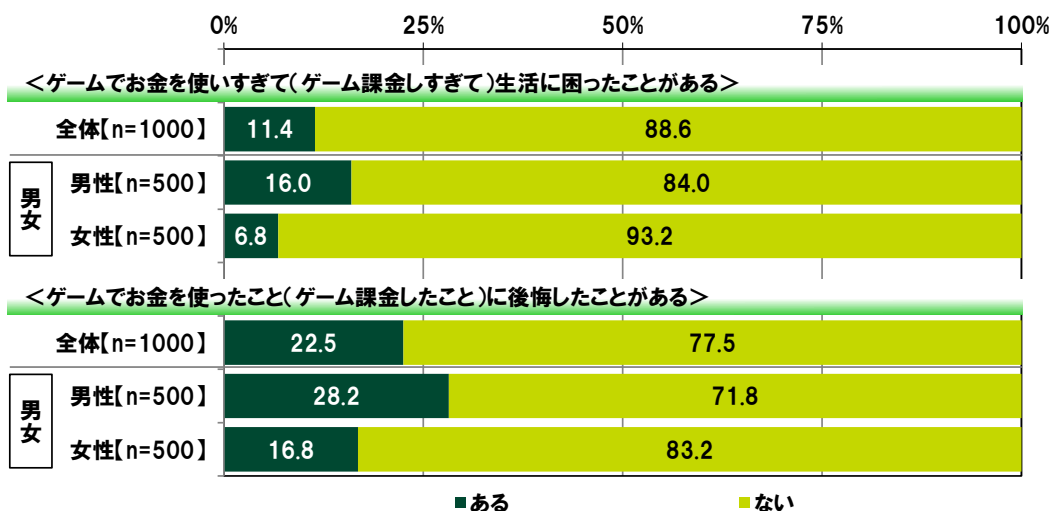
ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にかけている金額の平均 (数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人



また、ゲーム課金での経験を聞いたところ、＜ゲームでお金を使いすぎて(ゲーム課金しすぎて)生活に困ったことがある＞では「ある」は 11.4%、＜ゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある＞では「ある」は 22.5%となりました。

男女別にみると、男性ではくゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある＞で「ある」と回答した人の割合が 28.2%と、女性(16.8%)と比べて 11.4 ポイント高くなりました。

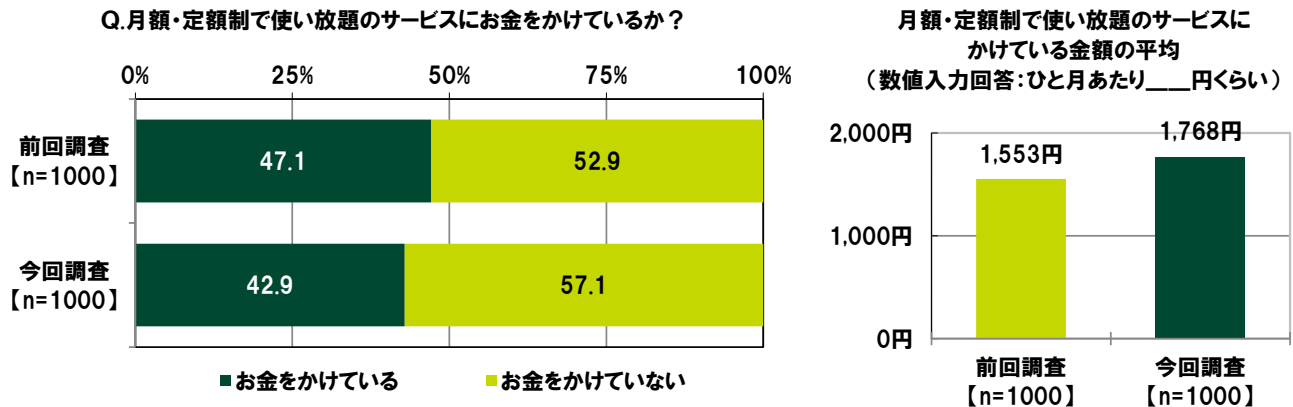
Q.ゲーム課金に関する以下の経験があるか、ないか？ (各単一回答)



≫ サブスクサービスにかけている金額の全体平均は 1,768 円/月、前回調査から 215 円増加

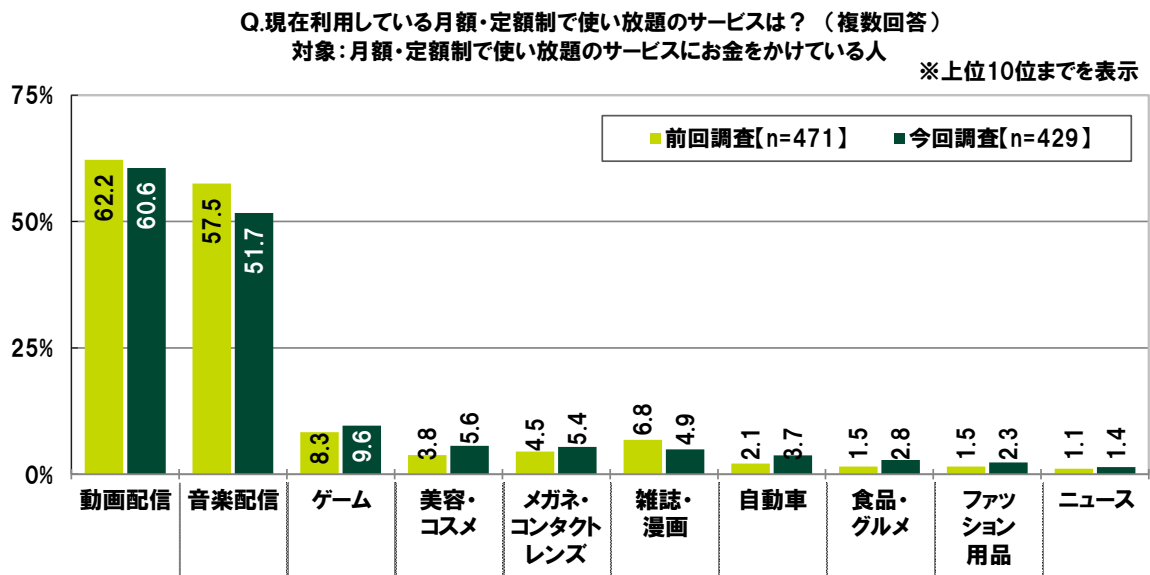
全回答者(1,000名)に、モノを持たない消費の一つであるサブスクリプションサービスについて質問しました。まず、月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は42.9%で、ひと月あたりにかけている金額の全体平均は 1,768 円でした。

前回の調査結果と比較すると、かけている金額の全体平均は215円の増加(前回調査 1,553円→今回調査 1,768円)となりました。



月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけている人(429名)に、現在利用している月額・定額制で使い放題のサービスを聞いたところ、「動画配信」(60.6%)と「音楽配信」(51.7%)が突出して高くなり、「ゲーム」(9.6%)、「美容・コスメ」(5.6%)、「メガネ・コンタクトレンズ」(5.4%)が続きました。

前回の調査結果と比較すると、「音楽配信」は 5.8 ポイントの下降(前回調査 57.5%→今回調査 51.7%)となりました。



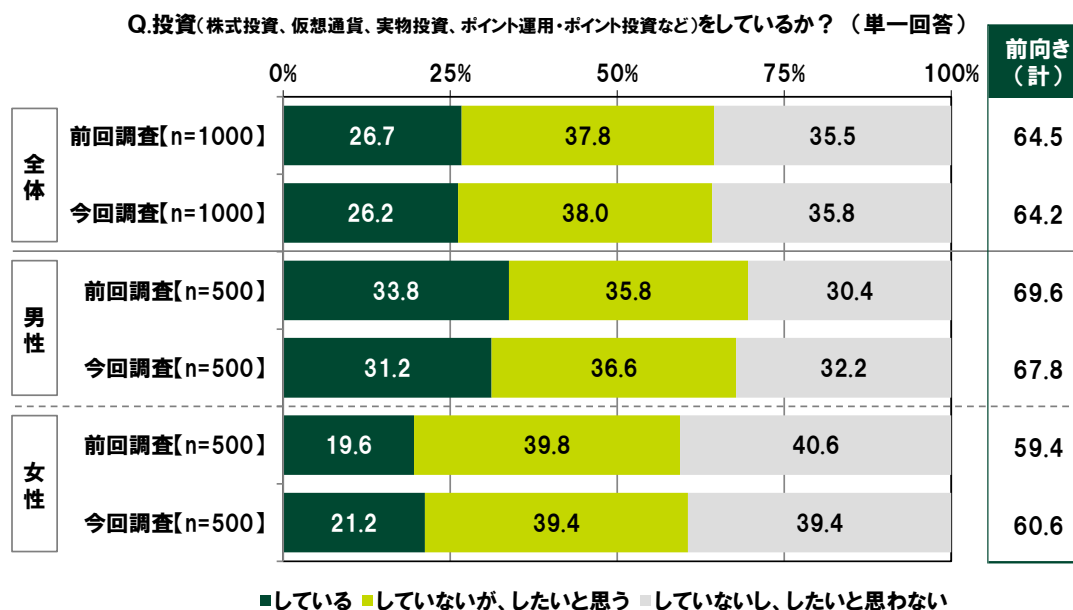
≫ 「現在、投資をしている」26.2%

ひと月あたりに投資に回している金額は平均 23,589 円、前回調査から 2,416 円減少

投資（株式投資、仮想通貨、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など）について質問しました。

全回答者（1,000 名）に、投資をしているか聞いたところ、「している」は 26.2%、「していないが、したいと思う」は 38.0%で、合計した『前向き（計）』は 64.2%となりました。

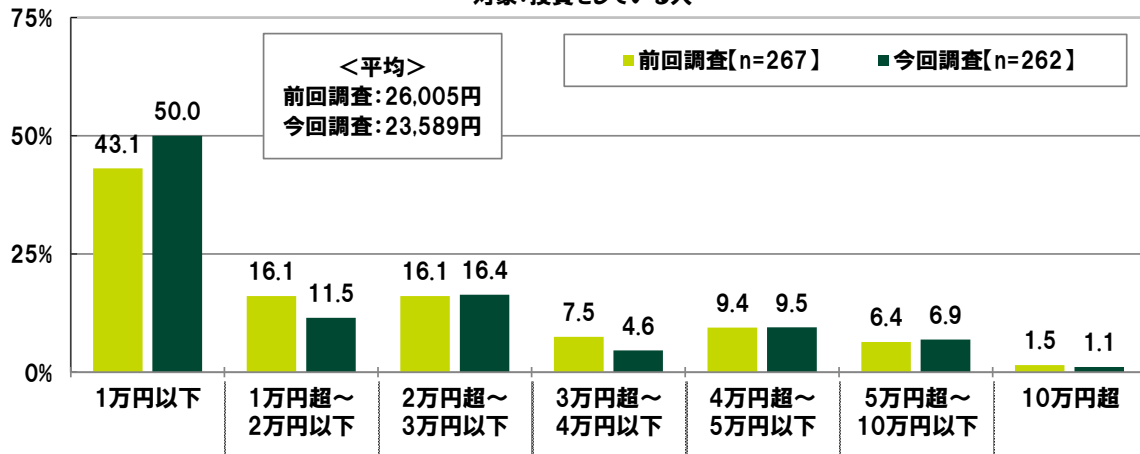
投資をしている人の割合は、男性では 31.2%と、女性（21.2%）と比べて 10.0 ポイント高くなりました。



投資をしている人(262名)に、ひと月あたり、いくらくらい投資(貯蓄型保険除く)にお金を回しているか聞いたところ、「1万円以下」(50.0%)に最も多くの回答が集まったほか、「1万円超～2万円以下」(11.5%)や「2万円超～3万円以下」(16.4%)にも回答がみられ、平均は23,589円でした。

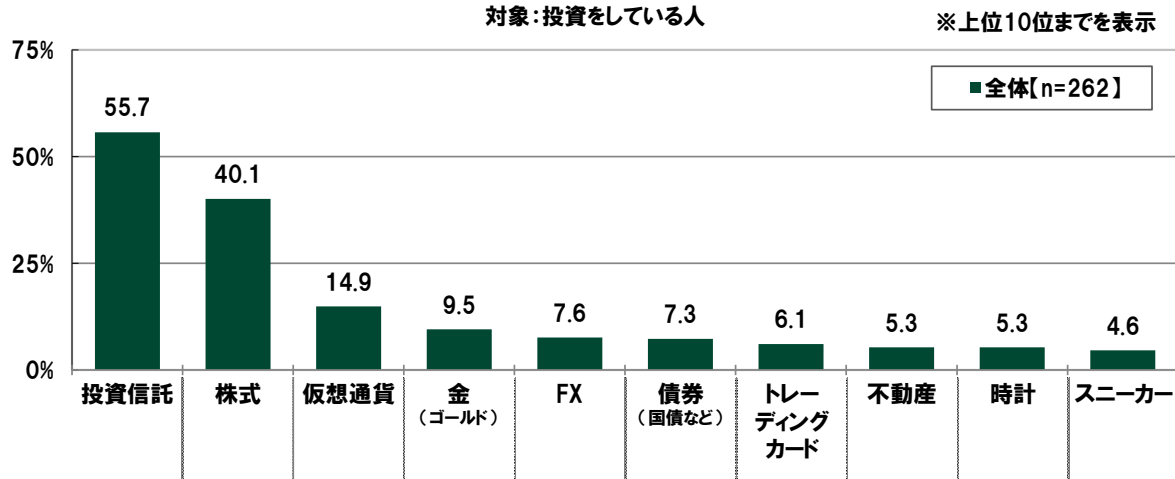
前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりに投資に回している金額の平均は、2,416円の減少(前回調査26,005円→今回調査23,589円)となりました。

Q.ひと月あたり、いくらくらい投資(貯蓄型保険除く)にお金を回しているか?
(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:投資をしている人



また、投資をしているものを聞いたところ、「投資信託」(55.7%)が最も高くなり、「株式」(40.1%)、「仮想通貨」(14.9%)、「金(ゴールド)」(9.5%)、「FX」(7.6%)が続きました。

Q.投資をしているものは? (複数回答)
対象:投資をしている人

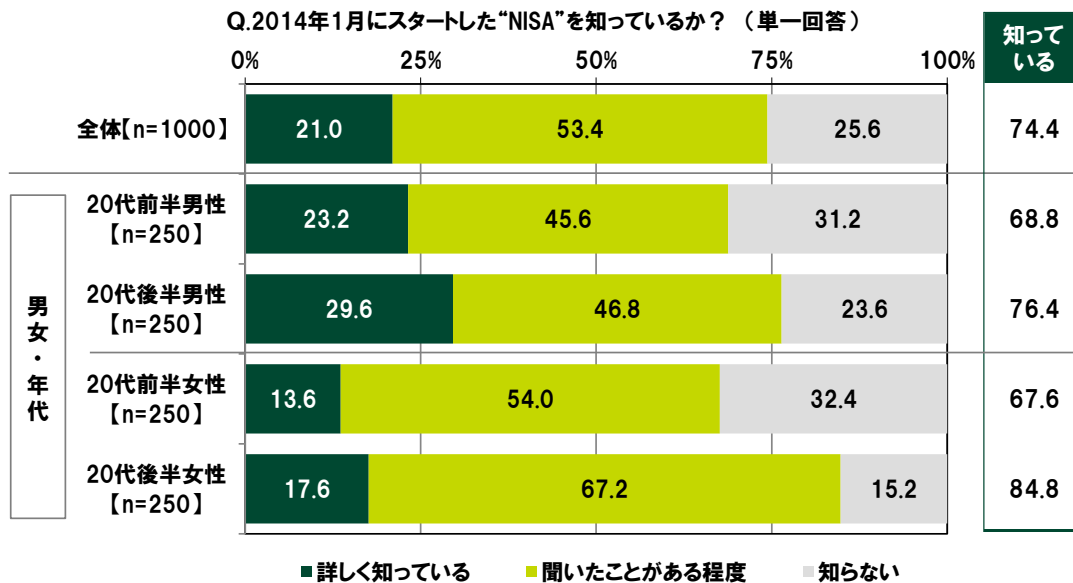


- ≫ 「2014年1月にスタートした“NISA”を知っている」74.4%
- ≫ 「2024年1月にスタートする“新しいNISA(新NISA)”を知っている」65.6%
- ≫ 「“新しいNISA(新NISA)”を利用する予定がある」30.5%、20代後半男性では44.0%

個人投資家のための税制優遇制度の一つである“NISA”について質問しました。

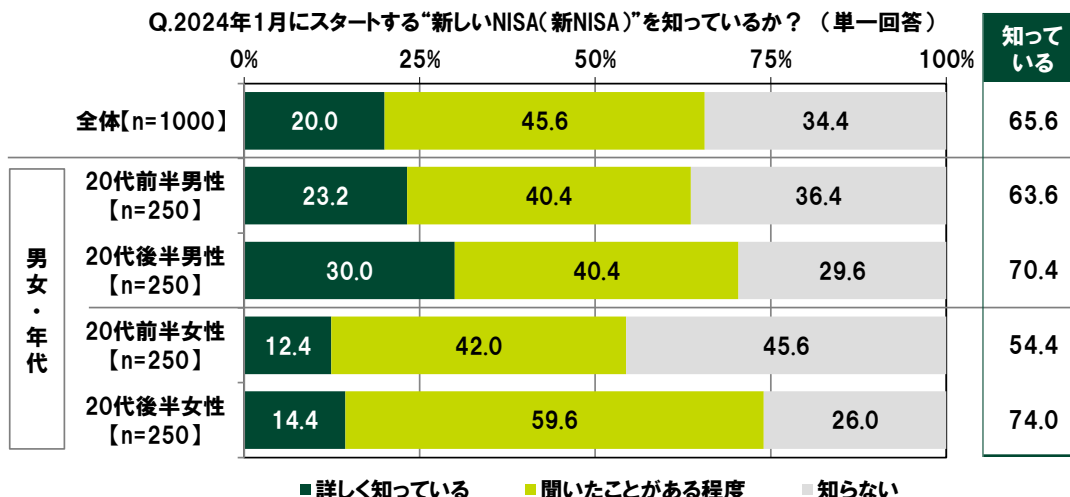
まず、全回答者(1,000名)に、2014年1月にスタートした“NISA”を知っているか聞いたところ、「詳しく知っている」が21.0%、「聞いたことがある程度」が53.4%で、合計した『知っている』は74.4%、「知らない」は25.6%となりました。制度が始まって10年経つ“NISA”に関しては、大半の人が認知しているようです。

男女・年代別にみると、『知っている』と回答した人の割合は20代後半女性(84.8%)が最も高くなりました。



また、2024年1月にスタートする“新しいNISA(新NISA)”を知っているか聞いたところ、『知っている』は65.6%、「知らない」は34.4%となりました。

男女・年代別にみると、『知っている』と回答した人の割合は20代後半女性(74.0%)が最も高くなりました。

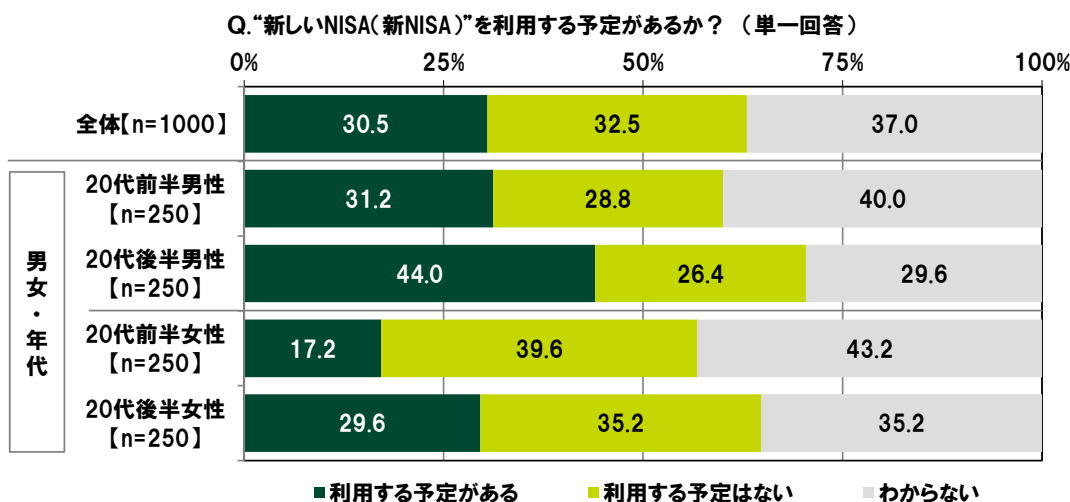


“新しいNISA(新NISA)”には、次のような特徴があります。

- ・投資の利益に税金がかからない制度で、非課税保有期間は無期限
- ・投資枠は「つみたて投資枠」と「成長投資枠」の二つ
- ・運用できる商品は、「つみたて投資枠」では一定の条件を満たした投資信託、「成長投資枠」では株式、投資信託、ETF(上場投資信託)
- ・投資枠は、年間最大で360万円
- ・生涯投資枠は1,800万円で、購入した金融商品を売却すれば投資枠は翌年以降に再利用可能

そこで、“新しいNISA(新NISA)”を利用する予定があるか聞いたところ、「利用する予定がある」は30.5%、「利用する予定はない」は32.5%、「わからない」は37.0%となりました。新制度を上手に活用して、資産形成に取り組みたいと考えている人は少なくないようです。

男女・年代別にみると、「利用する予定がある」と回答した人の割合は20代後半男性(44.0%)が最も高くなりました。



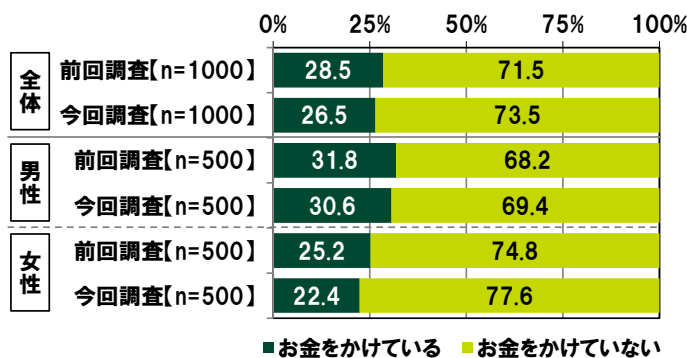
- ≫ 「自己投資にお金をかけている」26.5%、かけているお金は平均 7,821 円/月
- ≫ 「自分磨きにお金をかけている」60.0%、かけているお金は平均 8,672 円/月

全回答者(1,000名)に、自己投資(スキルアップのための勉強や資格取得など)や自分磨き(美容やファッションなど外見磨き)への支出状況について聞きました。

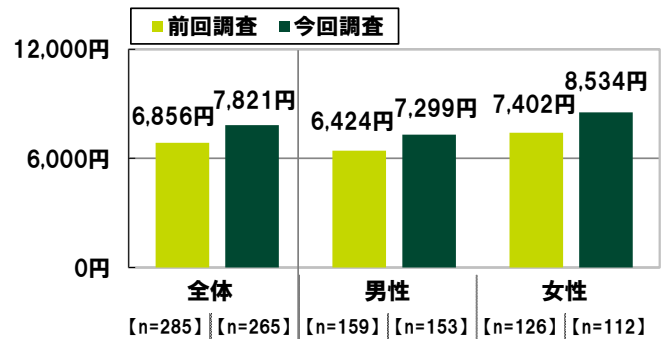
自己投資にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 26.5%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 7,821 円でした。

男女別にみると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、全体では 965 円の増加(前回調査 6,856 円→今回調査 7,821 円)、男性では 875 円の増加(前回調査 6,424 円→今回調査 7,299 円)、女性では 1,132 円の増加(前回調査 7,402 円→今回調査 8,534 円)となりました。

Q.自己投資のためにお金をかけているか？



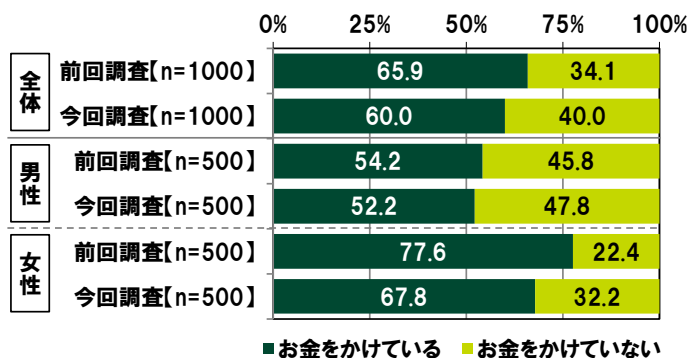
自己投資にかけている金額の平均
(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人



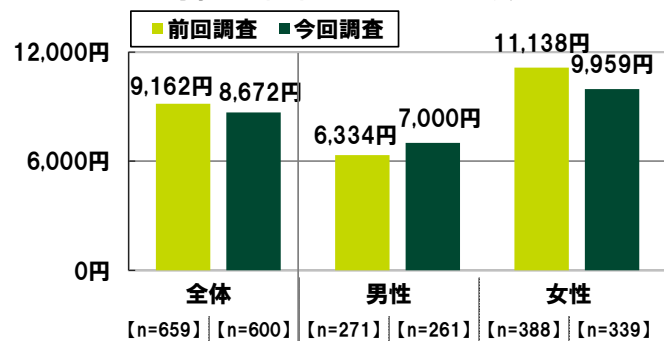
また、自分磨きにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 60.0%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 8,672 円でした。

前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、全体では 490 円の減少(前回調査 9,162 円→今回調査 8,672 円)、男性では 666 円の増加(前回調査 6,334 円→今回調査 7,000 円)、女性では 1,179 円の減少(前回調査 11,138 円→今回調査 9,959 円)となりました。

Q.自分磨きのためにお金をかけているか？



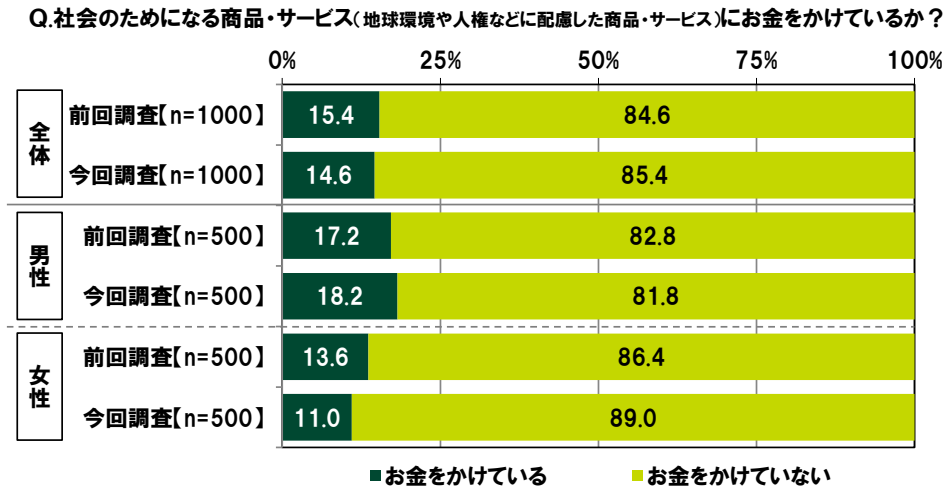
自分磨きにかけている金額の平均
(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人



≫ 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」14.6%
 かけているお金は平均 4,863 円/月、前回調査から 859 円増加

全回答者(1,000 名)に、社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 14.6%となりました。

男女別にみると、お金をかけている人の割合は、男性では 18.2%と、女性(11.0%)と比べて 7.2 ポイント高くなりました。

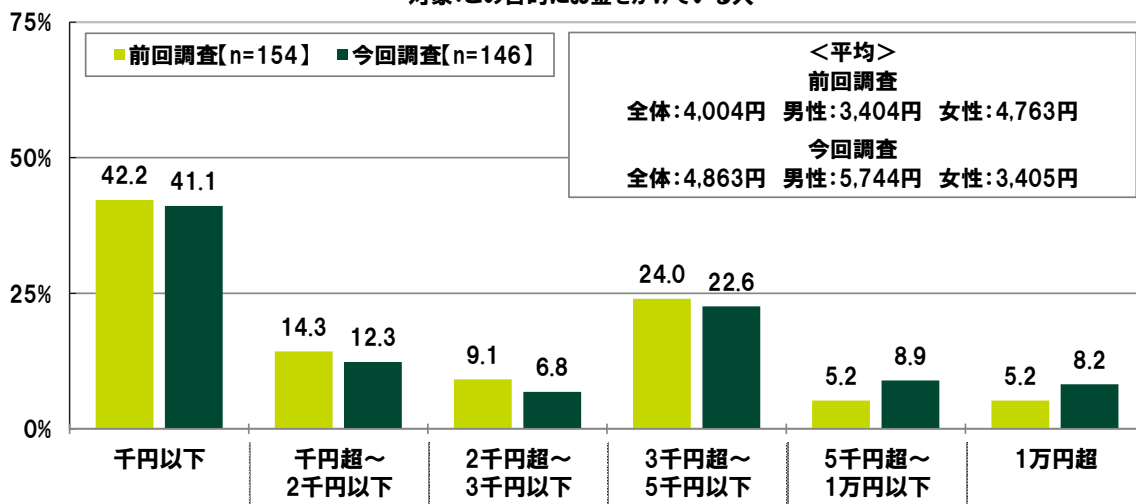


お金をかけている人(146 名)に、ひと月あたり、いくらくらいお金をかけているか聞いたところ、「千円以下」(41.1%)に最も多くの回答が集まったほか、「3 千円超～5 千円以下」(22.6%)にも回答がみられ、平均は 4,863 円でした。

男女別にみると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、男性では 5,744 円と、女性(3,405 円)と比べて 2,339 円高くなりました。

前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、全体では 859 円の増加(前回調査 4,004 円→今回調査 4,863 円)、男性では 2,340 円の増加(前回調査 3,404 円→今回調査 5,744 円)、女性では 1,358 円の減少(前回調査 4,763 円→今回調査 3,405 円)となりました。

Q.ひと月あたり、いくらくらい社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか？ (数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)
 対象:この目的にお金をかけている人

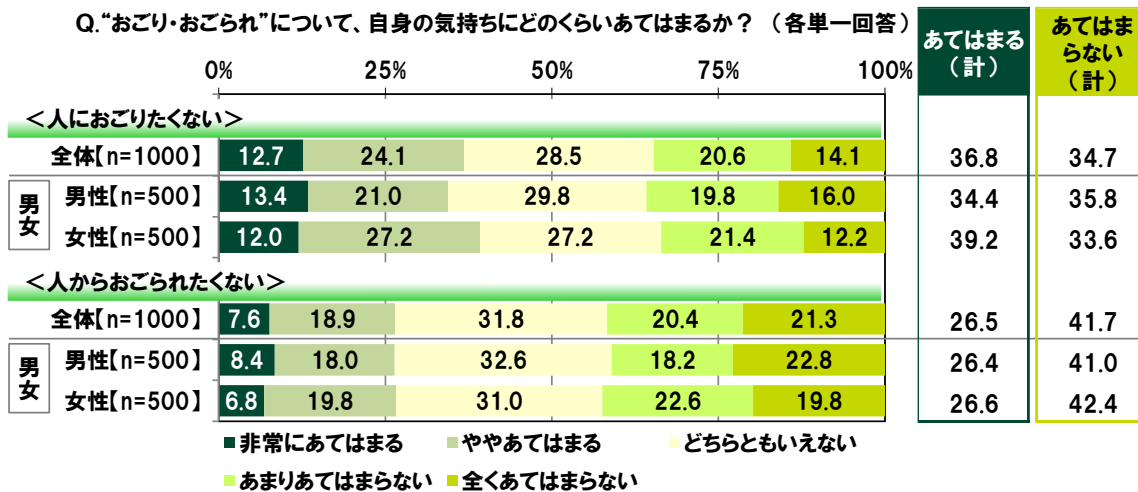


【20代のマネー意識】

- ≫ 「人におごりたくない」36.8%、「人からおごられたくない」26.5%
- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない」46.7%、「金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない」58.2%

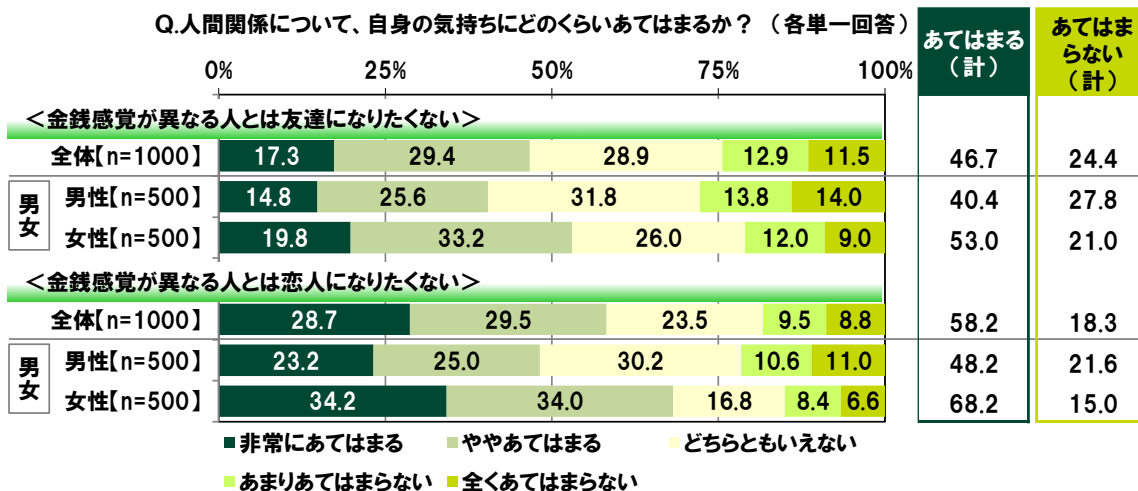
マネー意識について質問しました。

全回答者(1,000名)に、“おごり・おごられ”に対する意識を聞いたところ、<人におごりたくない>では「非常にあてはまる」が12.7%、「ややあてはまる」が24.1%で、合計した『あてはまる(計)』は36.8%となり、<人からおごられたくない>では『あてはまる(計)』は26.5%となりました。“おごり・おごられ”により、相手に気を遣ったり気を遣わせたりしないようにしたいと考える人は少なくないようです。



金銭感覚と人間関係についての意識を聞いたところ、<金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない>では『あてはまる(計)』は46.7%、<金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない>では『あてはまる(計)』は58.2%となりました。

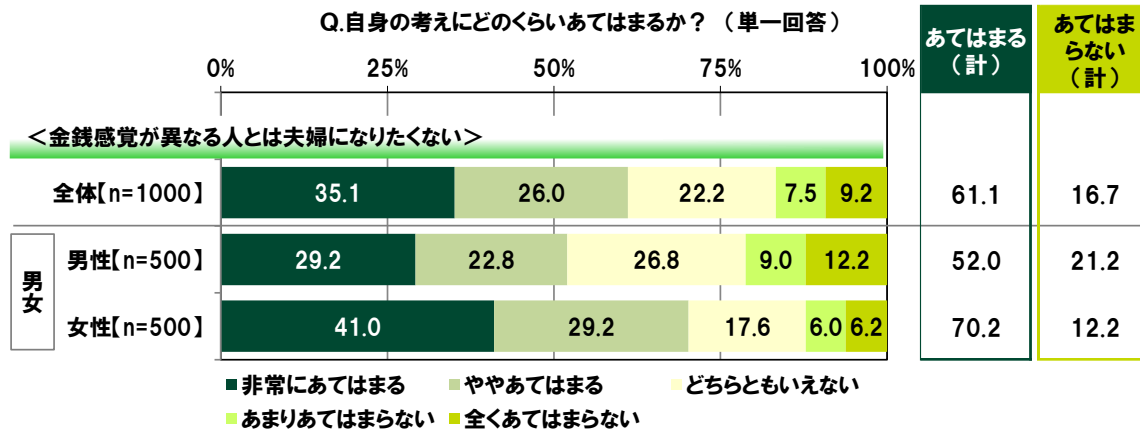
男女別にみると、女性では、金銭感覚が異なる人とは友達になりたくないと回答した人の割合が53.0%、金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくないと回答した人の割合が68.2%と、どちらも半数を超えました。女性には、金銭感覚のズレがトラブルの原因になると感じている人が多いのではないのでしょうか。



- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」61.1%
- ≫ 「幸せになるにはお金が必要」66.4%

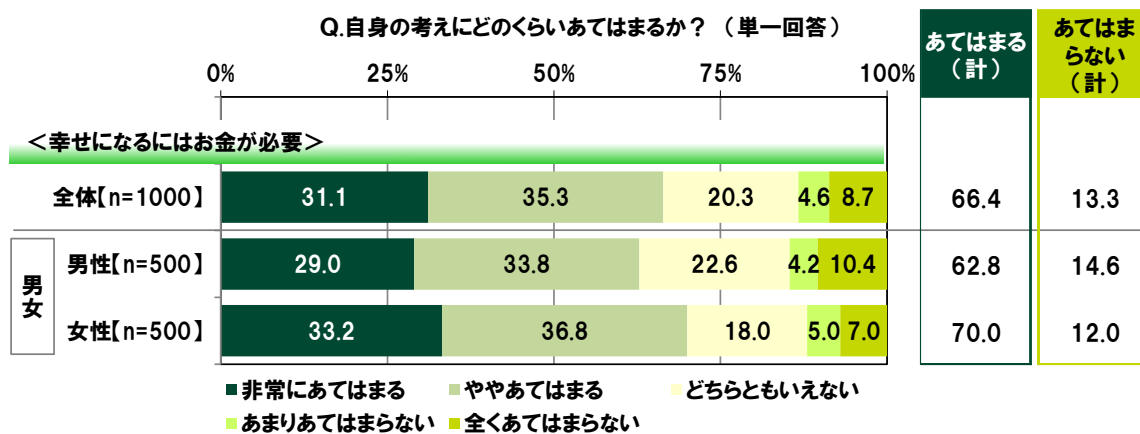
また、<金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない>では『あてはまる(計)』は61.1%となりました。

男女別にみると、女性では、金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくないと回答した人の割合が70.2%と、男性(52.0%)と比べて18.2ポイント高くなりました。



さらに、お金と幸せの関係についての意識を聞いたところ、<幸せになるにはお金が必要>では『あてはまる(計)』は66.4%となりました。

男女別にみると、女性では、幸せになるにはお金が必要と回答した人の割合が70.0%と、男性(62.8%)と比べて7.2ポイント高くなりました。



- ≫ 人生を楽しむために一番大切にしたいと思うものは？ 1位「家族」2位「趣味」3位「恋人・パートナー」
 20代前半男性の1位は「恋人・パートナー」、20代後半男性の1位は「趣味」「お金」、
 20代前半女性の1位は「恋人・パートナー」、20代後半女性の1位は「家族」

全回答者(1,000名)に、人生を楽しむために一番大切にしたいと思うものを聞いたところ、1位「家族」(12.2%)、2位「趣味」(11.0%)となりました。楽しい人生を送るためには、家族の存在や満喫できる趣味があることが欠かせないと考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで、3位「恋人・パートナー」(10.1%)、4位「お金」(9.6%)、5位「自分らしさ」(8.3%)となりました。

男女別にみると、男性では1位「趣味」(12.6%)、2位「お金」(11.2%)、3位「恋人・パートナー」(10.8%)、女性では1位「家族」(16.0%)、2位「趣味」「恋人・パートナー」(いずれも9.4%)でした。

男女・年代別にみると、20代前半男性では1位「恋人・パートナー」(14.0%)、20代後半男性では1位「趣味」「お金」(いずれも11.6%)、20代前半女性では1位「恋人・パートナー」(10.4%)、20代後半女性では1位「家族」(22.0%)でした。

Q.人生を楽しむために一番大切にしたいと思うものは？(単一回答)

※全体と男女別は上位10位、男女・年代別は上位5位までを表示

順位	全体[n=1000]	%	順位	男性[n=500]	%	順位	女性[n=500]	%
1位	家族	12.2	1位	趣味	12.6	1位	家族	16.0
2位	趣味	11.0	2位	お金	11.2	2位	趣味	9.4
3位	恋人・パートナー	10.1	3位	恋人・パートナー	10.8	2位	恋人・パートナー	9.4
4位	お金	9.6	4位	家族	8.4	4位	自分らしさ	9.0
5位	自分らしさ	8.3	5位	自分らしさ	7.6	5位	心の豊かさ	8.6
6位	心の豊かさ	6.7	6位	時間	5.4	6位	お金	8.0
7位	健康	5.6	6位	生きがい	5.4	7位	健康	6.2
8位	時間	5.5	8位	健康	5.0	8位	時間	5.6
9位	生きがい	4.9	9位	心の豊かさ	4.8	9位	生きがい	4.4
10位	友人	3.3	10位	友人	3.2	10位	友人	3.4

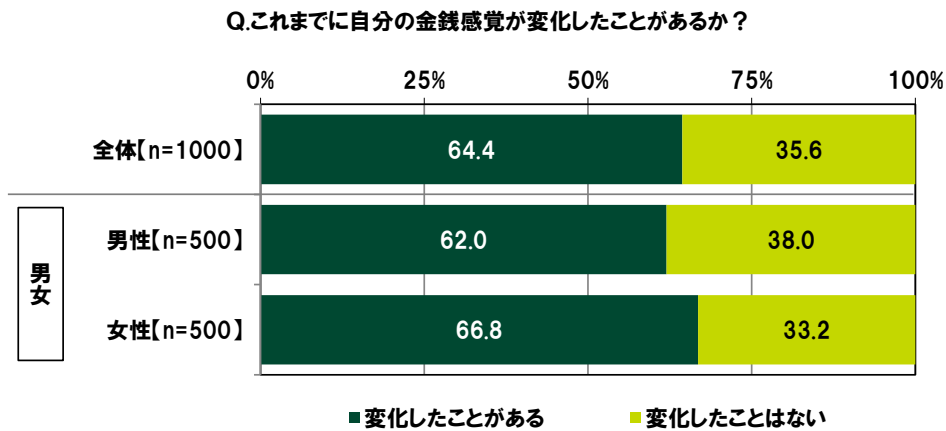
順位	20代前半男性 [n=250]	%	順位	20代後半男性 [n=250]	%	順位	20代前半女性 [n=250]	%	順位	20代後半女性 [n=250]	%
1位	恋人・パートナー	14.0	1位	趣味	11.6	1位	恋人・パートナー	10.4	1位	家族	22.0
2位	趣味	13.6	1位	お金	11.6	2位	家族	10.0	2位	自分らしさ	11.2
3位	お金	10.8	3位	家族	8.8	2位	趣味	10.0	3位	趣味	8.8
4位	家族	8.0	3位	自分らしさ	8.8	4位	お金	9.6	4位	恋人・パートナー	8.4
5位	自分らしさ	6.4	5位	恋人・パートナー	7.6	4位	心の豊かさ	9.6	5位	心の豊かさ	7.6

≫ 「これまでに自分の金銭感覚が変化したことがある」64.4%

変化したきっかけ TOP3 は「一人暮らしを始めた」「就職した」「クレジットカードを作った」

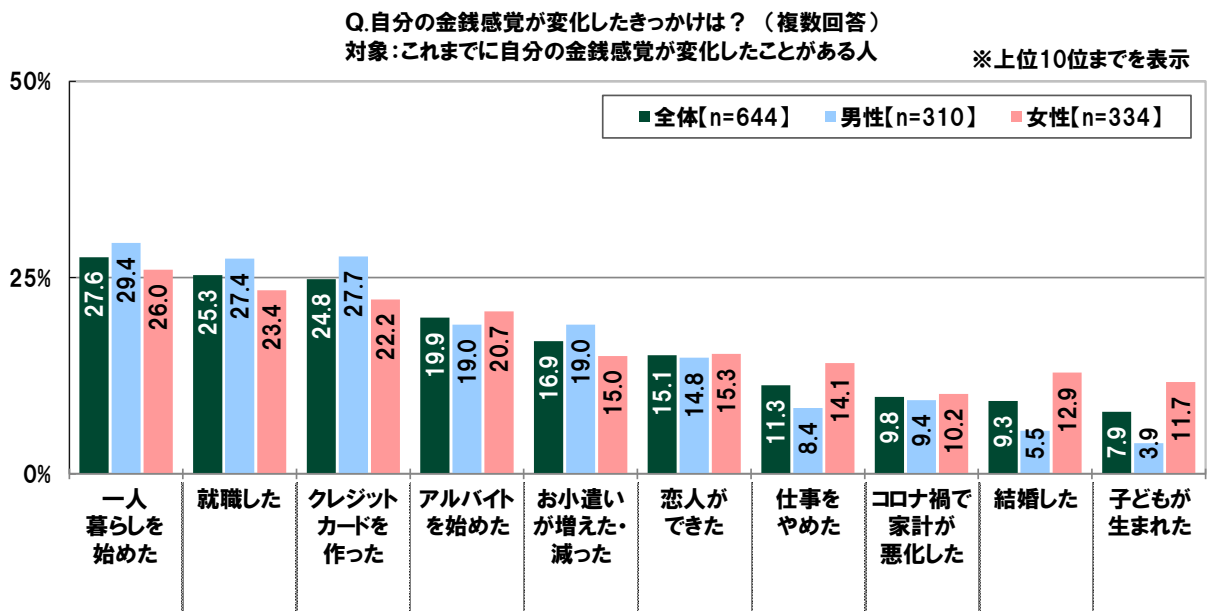
続いて、金銭感覚の変化について質問しました。

全回答者(1,000名)に、これまでに自分の金銭感覚が変化したことがあるか聞いたところ、「変化したことがある」は64.4%、「変化したことはない」は35.6%となりました。



これまでに自分の金銭感覚が変化したことがある人(644名)に、金銭感覚が変化したきっかけを聞いたところ、「一人暮らしを始めた」(27.6%)が最も高くなりました。一人暮らしをすることで、金銭感覚が磨かれたと感じた人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「就職した」(25.3%)、「クレジットカードを作った」(24.8%)、「アルバイトを始めた」(19.9%)、「お小遣いが増えた・減った」(16.9%)でした。

男女別にみると、女性では「仕事をやめた」が14.1%、「結婚した」が12.9%、「子どもが生まれた」が11.7%と、男性(順に8.4%、5.5%、3.9%)と比べて5ポイント以上高くなりました。



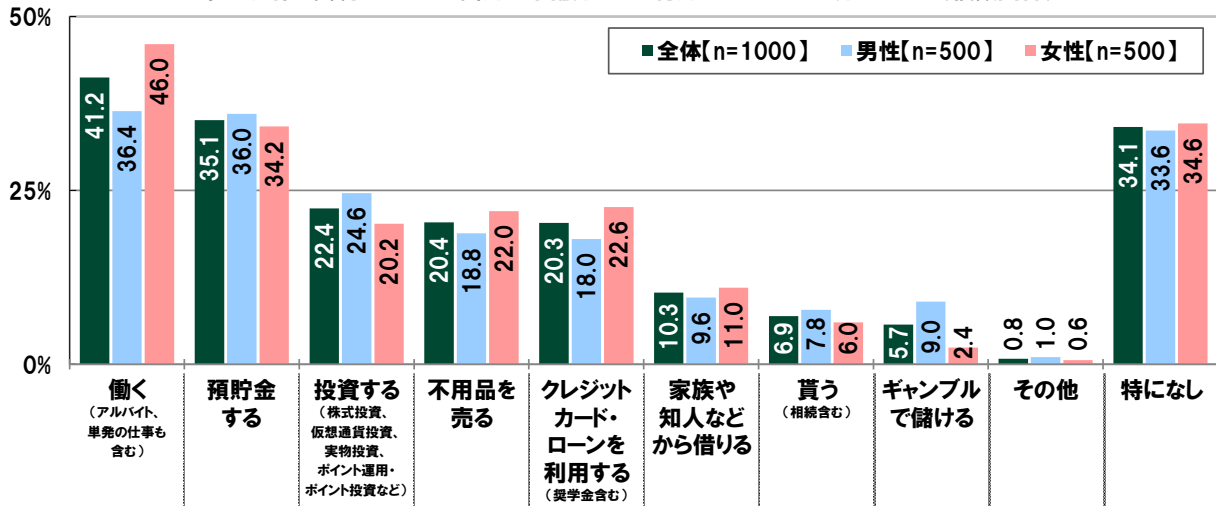
≫ 夢や目標を実現するための費用の準備方法 1位「働く」2位「預貯金する」3位「投資する」

全回答者(1,000名)に、夢や目標を実現するための費用の準備方法について質問しました。

まず、利用したことがある方法を聞いたところ、「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」(41.2%)が最も高くなり、「預貯金する」(35.1%)、「投資する(株式投資、仮想通貨投資、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)」(22.4%)、「不用品を売る」(20.4%)、「クレジットカード・ローンを利用する(奨学金含む)」(20.3%)が続きました。

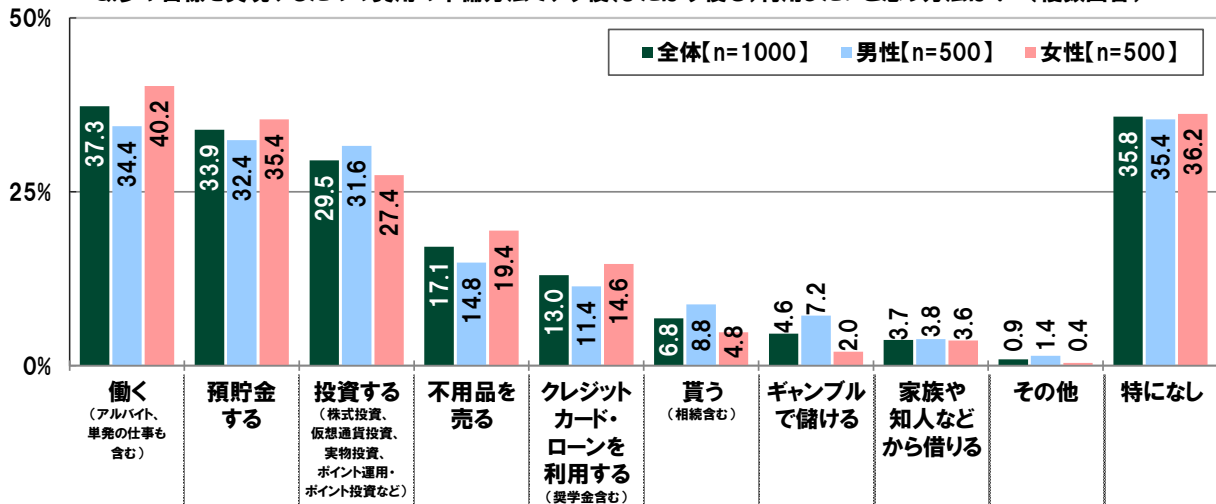
男女別にみると、女性では「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」が46.0%と、男性(36.4%)と比べて9.6ポイント高くなりました。

Q.夢や目標を実現するための費用の準備方法で、利用したことがある方法は？（複数回答）



また、今後(または今後も)利用したいと思う方法を聞いたところ、「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」(37.3%)が最も高くなり、「預貯金する」(33.9%)、「投資する(株式投資、仮想通貨投資、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)」(29.5%)、「不用品を売る」(17.1%)、「クレジットカード・ローンを利用する(奨学金含む)」(13.0%)が続きました。

Q.夢や目標を実現するための費用の準備方法で、今後(または今後も)利用したいと思う方法は？（複数回答）

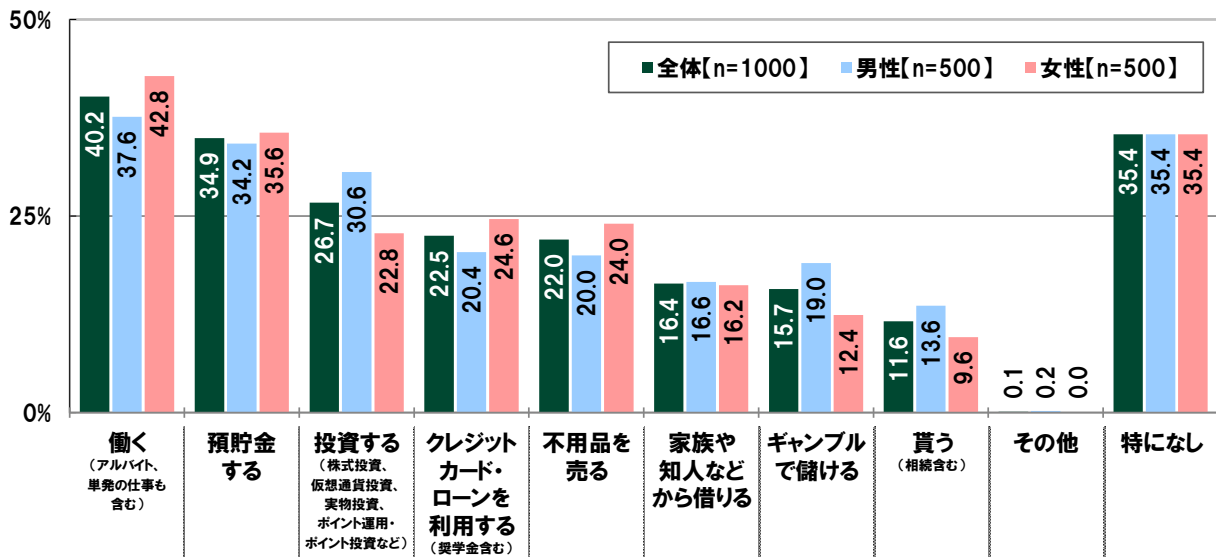


≫ 「投資」「クレジットカード・ローンの利用」のメリット・デメリットの理解率 3割未満にとどまる

夢や目標を実現するための費用の準備方法で、特徴(メリットやデメリット)を理解している方法を聞いたところ、「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」(40.2%)が最も高くなりました。実際に就業して自分自身で収入を得ることについては、メリット・デメリットを理解している人が多いようです。

他方、「投資する(株式投資、仮想通貨投資、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)」(26.7%)や「クレジットカード・ローンを利用する(奨学金含む)」(22.5%)は3割未満にとどまりました。投資やクレジットカード・ローンといった金融サービスを利用する場合、メリット・デメリットを理解しないとトラブルに遭うリスクがあります。トラブルを回避するためにも、金融リテラシーの向上に取り組むことが大切です。

Q.夢や目標を実現するための費用の準備方法で、特徴(メリットやデメリット)を理解している方法は？(複数回答)



【ライフイベントと収入事情】

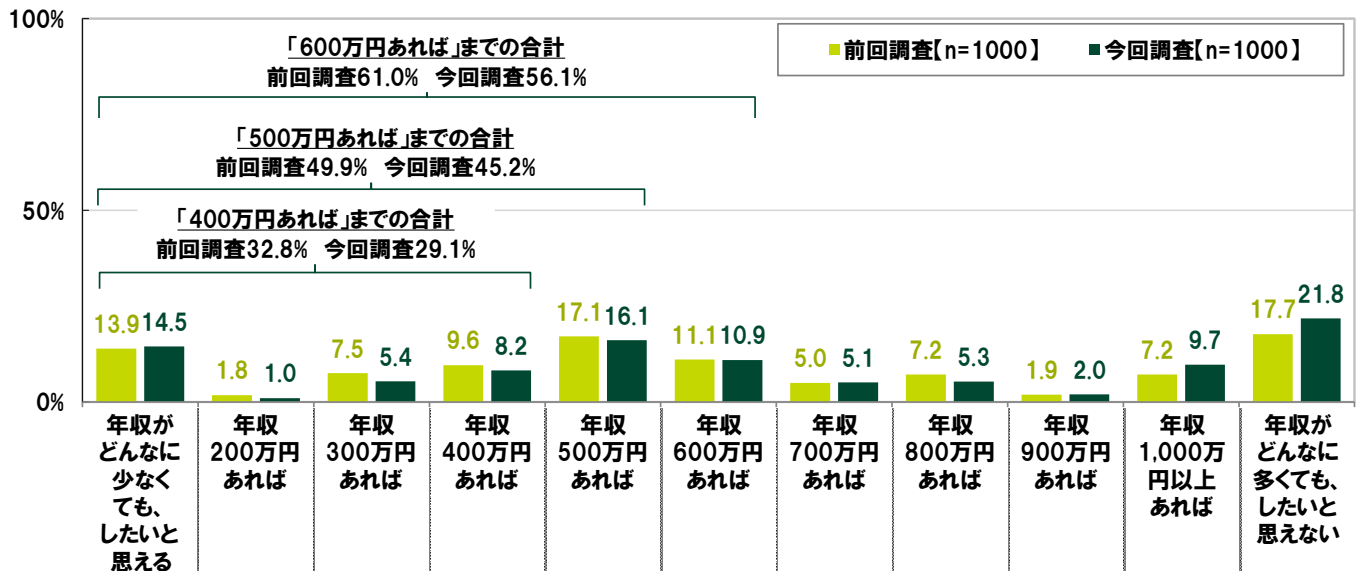
- ≫ 20代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収 600 万円」
- ≫ 「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」21.8%

ライフイベントと年収の関係について質問しました。

全回答者(1,000名)に、結婚しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収 400 万円以下と思える割合(「年収 400 万円あれば」までの合計)は 29.1%、年収 500 万円以下と思える割合(「年収 500 万円あれば」までの合計)は 45.2%、年収 600 万円以下と思える割合(「年収 600 万円あれば」までの合計)は 56.1%となり、20代の半数以上が結婚をイメージできるのは年収 600 万円であることがわかりました。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」は 21.8%となりました。

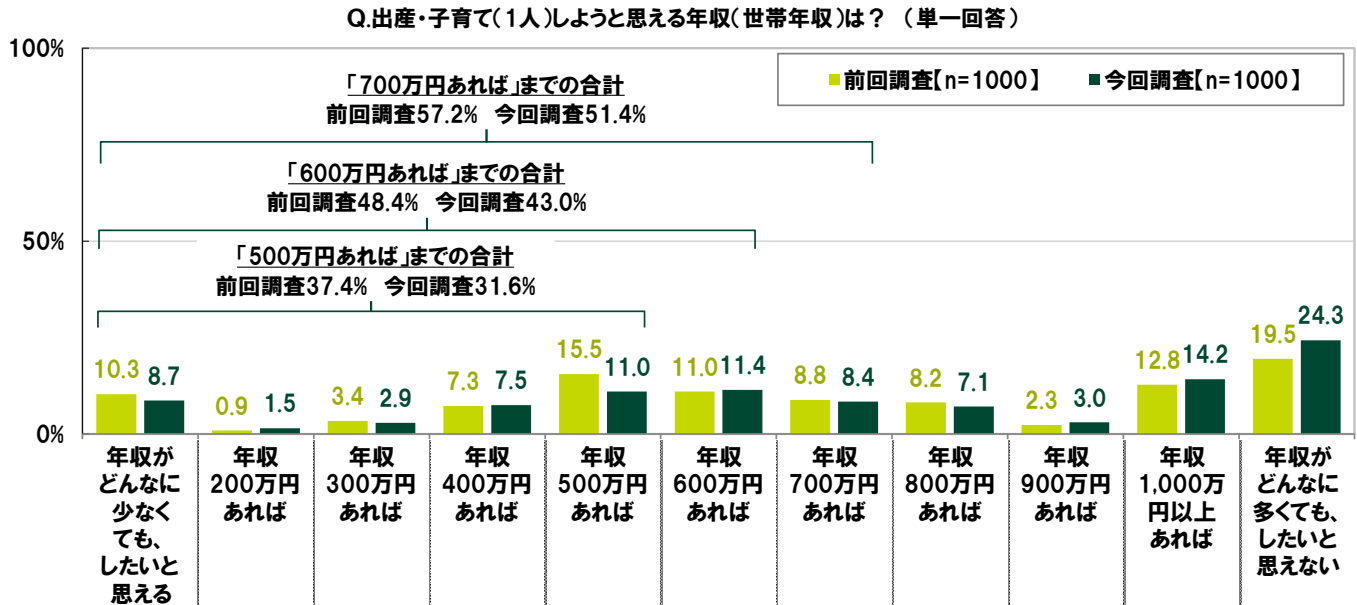
前回の調査結果と比較すると、半数以上が結婚しようと思えるのは、前回調査では年収 600 万円(61.0%)、今回調査でも年収 600 万円(56.1%)でした。

Q.結婚しようと思える年収(世帯年収)は？(単一回答)



≫ 20代の半数以上が1人目の子育てに前向きになるのは「年収700万円」

出産・子育て(1人)しようと思える世帯年収額を聞いたところ、20代の半数以上がイメージできるのは、前回調査では年収700万円(57.2%)、今回調査でも年収700万円(51.4%)でした。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」と回答した人の割合は、前回調査19.5%→今回調査24.3%と、4.8ポイント上昇しました。

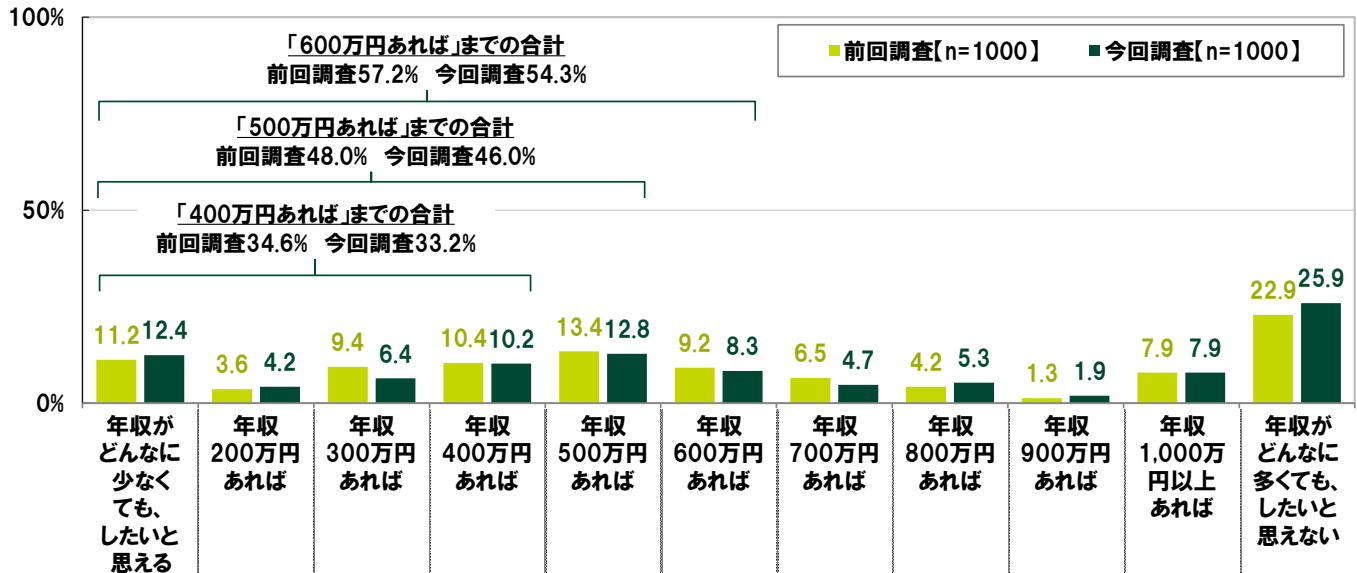


- ≫ 20代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは「年収 600 万円」
- ≫ 20代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは「年収 900 万円」、前回調査からハードルが上昇

自家用車を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収 400 万円でしょうと思える割合は 33.2%、年収 500 万円でしょうと思える割合は 46.0%、年収 600 万円でしょうと思える割合は 54.3%と、半数以上が自家用車の購入をイメージできるのは年収 600 万円となりました。

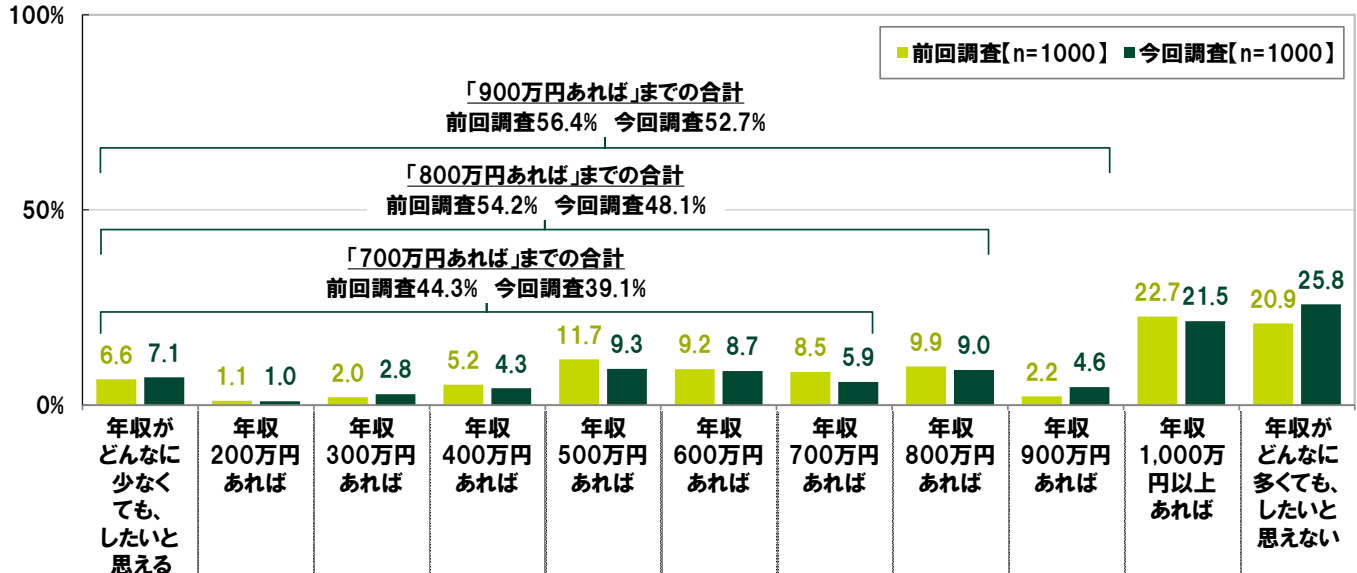
前回の調査結果と比較すると、半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは前回調査では年収 600 万円 (57.2%)、今回調査でも年収 600 万円 (54.3%) でした。

Q.自家用車を購入しようと思える年収(世帯年収)は？ (単一回答)



また、住宅を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、20 代の半数以上がイメージできるのは、前回調査では年収 800 万円 (54.2%) だったのに対し、今回調査では年収 900 万円 (52.7%) と、ハードルが上がる結果となりました。

Q.住宅を購入しようと思える年収(世帯年収)は？ (単一回答)



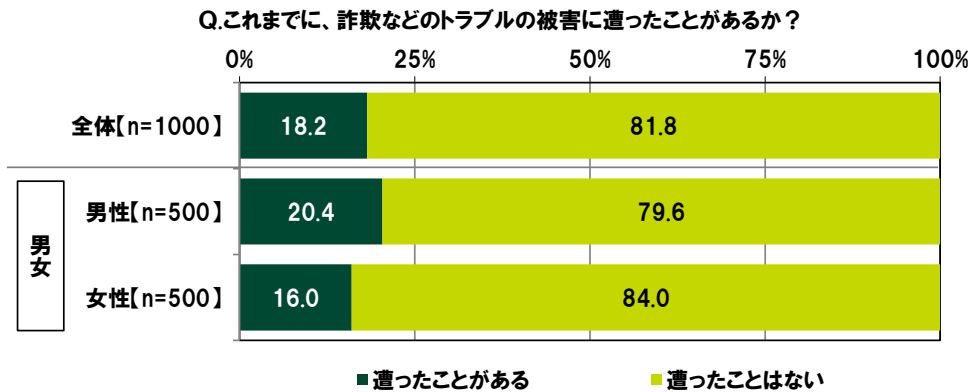
【20代のマネートラブル経験と金融リテラシー】

- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」18.2%、経験した詐欺被害1位は「マルチ商法・ねずみ講」
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」24.6%

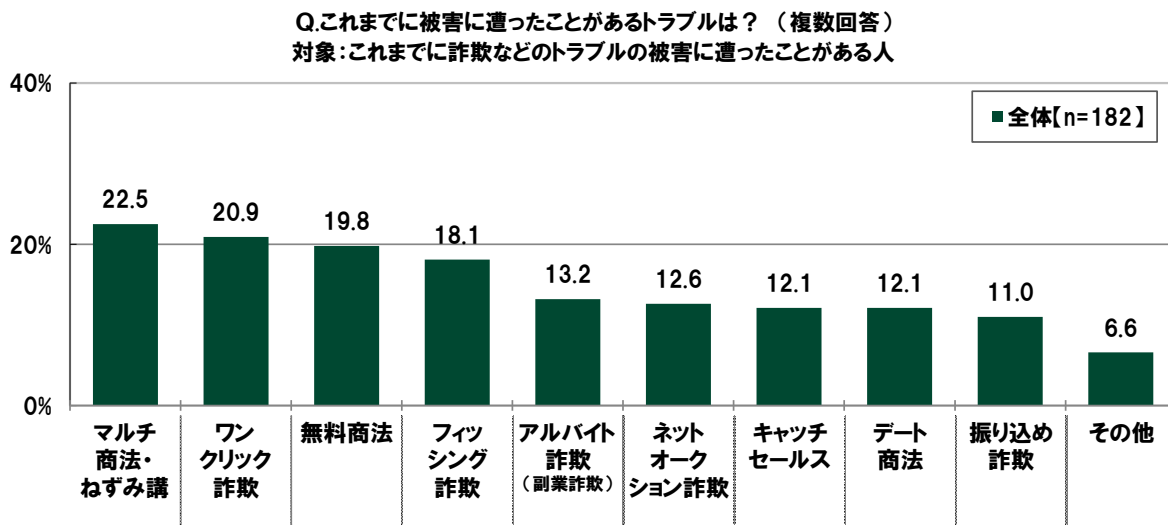
詐欺などのお金に関するトラブルについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがあるか聞いたところ、「遭ったことがある」は18.2%、「遭ったことはない」は81.8%となりました。

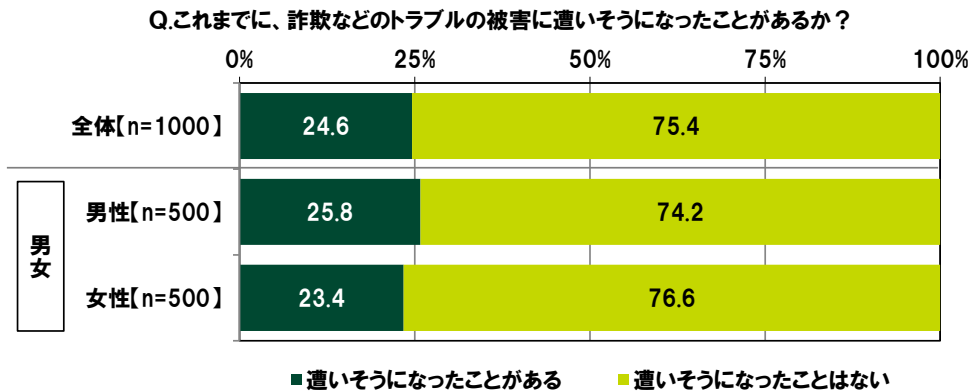
男女別にみると、「遭ったことがある」と回答した人の割合は、男性では20.4%と、女性(16.0%)と比べて4.4ポイント高くなりました。



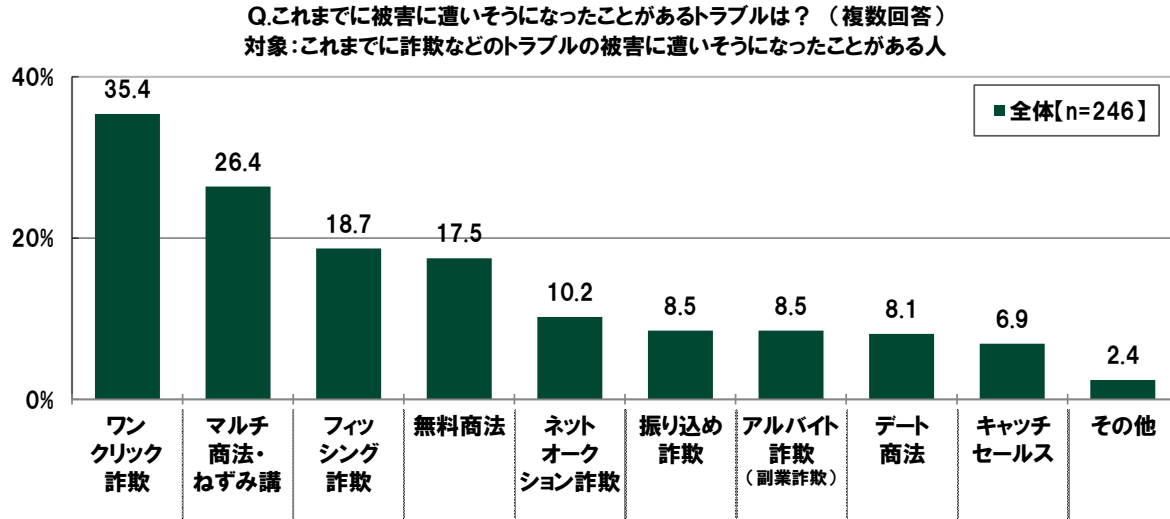
これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人(182名)に、被害に遭ったことがあるトラブルを聞いたところ、「マルチ商法・ねずみ講」(22.5%)が最も高くなり、「ワンクリック詐欺」(20.9%)、「無料商法」(19.8%)、「フィッシング詐欺」(18.1%)、「アルバイト詐欺(副業詐欺)」(13.2%)、「ネットオークション詐欺」(12.6%)、「キャッチセールス」(12.1%)、「デート商法」(12.1%)、「振り込み詐欺」(11.0%)、「その他」(6.6%)が続きました。



また、全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがあるか聞いたところ、「遭いそうになったことがある」は24.6%、「遭いそうになったことはない」は75.4%となりました。



これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人(246名)に、被害に遭いそうになったトラブルを聞いたところ、「ワンクリック詐欺」(35.4%)が最も高くなりました。Webサイトを閲覧中、偽の契約成立画面が突然表示され、不安を感じたり支払いをしてしまいそうになったりした人が多いようです。次いで高くなったのは、「マルチ商法・ねずみ講」(26.4%)、「フィッシング詐欺」(18.7%)、「無料商法」(17.5%)、「ネットオークション詐欺」(10.2%)でした。

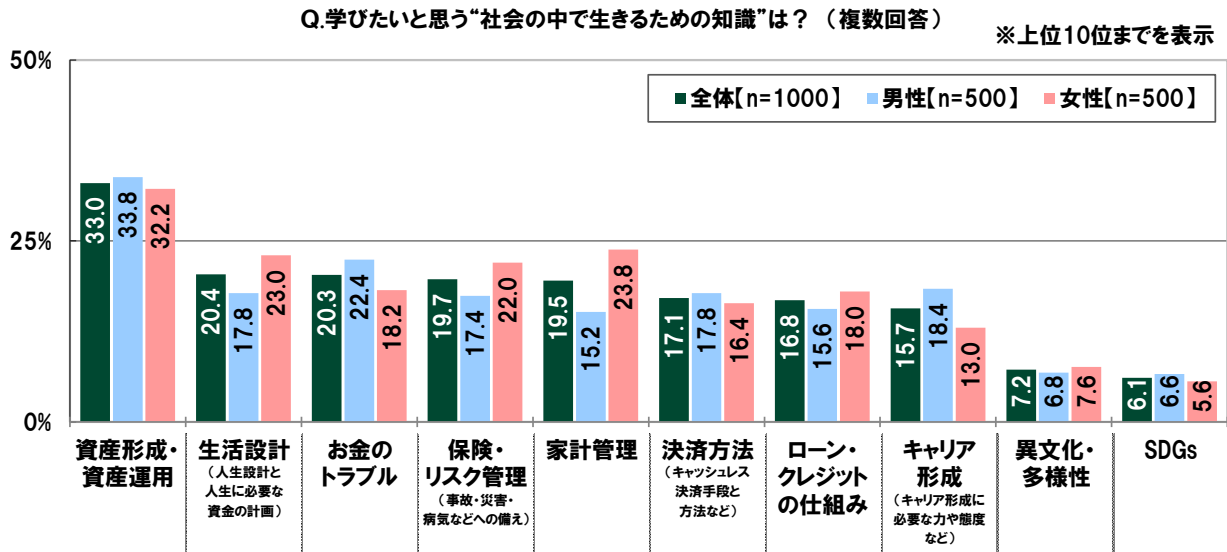


≫ 学びたいと思う“社会の中で生きるための知識” 1位「資産形成・資産運用」2位「生活設計」3位「お金のトラブル」

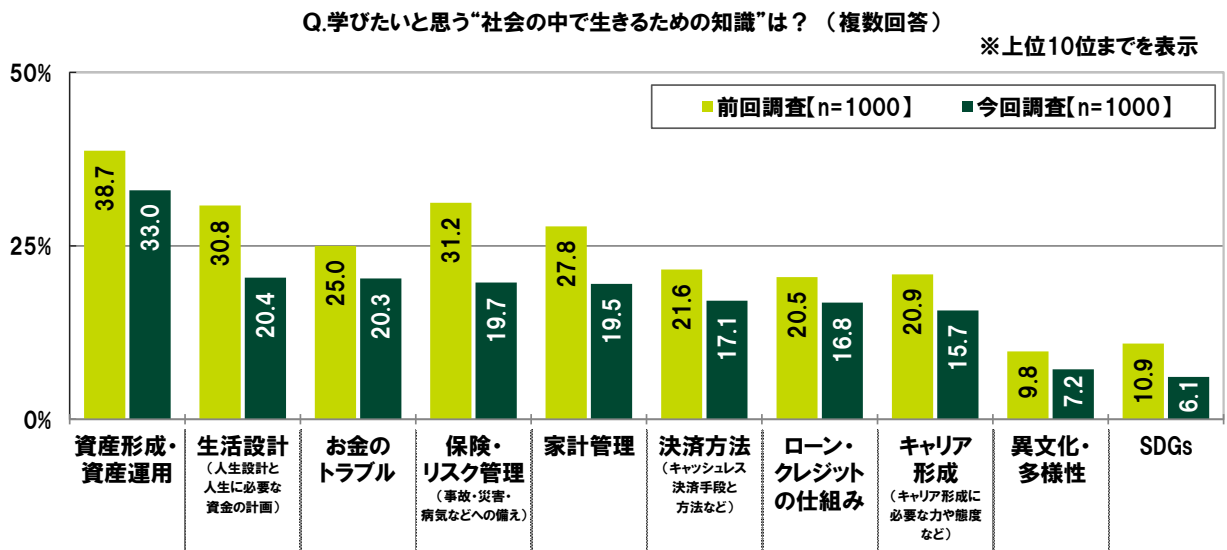
次に、金融リテラシーについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、学びたいと思う“社会の中で生きるための知識”を聞いたところ、「資産形成・資産運用」(33.0%)が最も高くなり、「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」(20.4%)、「お金のトラブル」(20.3%)、「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」(19.7%)、「家計管理」(19.5%)が続きました。

男女別にみると、女性では「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」が23.0%、「家計管理」が23.8%と、男性(順に17.8%、15.2%)と比べて5ポイント以上高くなりました。



前回の調査結果と比較すると、「資産形成・資産運用」は前回調査と今回調査のいずれも1位でした。資産形成方法や資産運用方法に関する知識・ノウハウをしっかりと学びたいと考える人は多いようです。



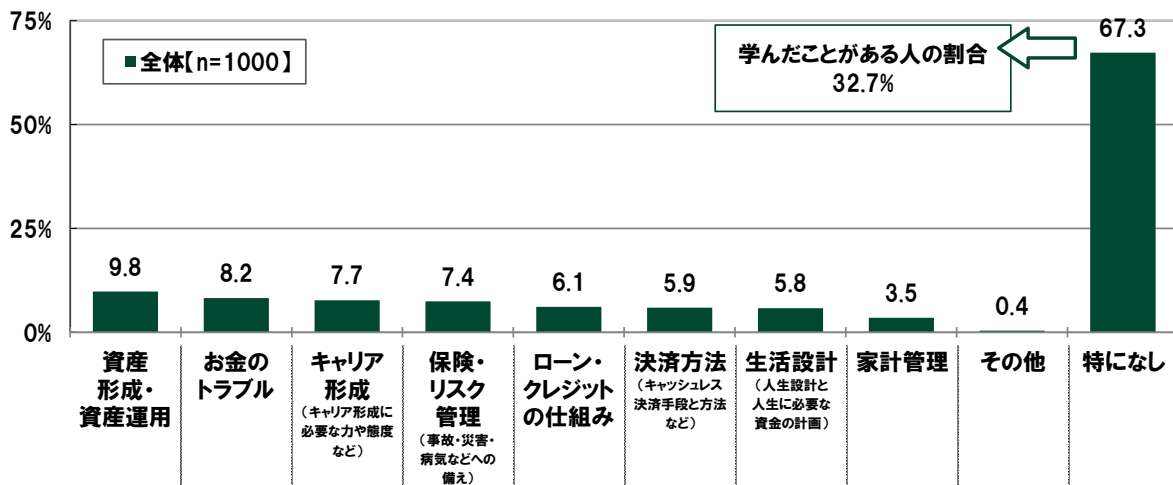
≫ 「セミナーや学校・職場で“金融知識”を学んだことがある」32.7%

学んだことがある“金融知識” 1位「資産形成・資産運用」2位「お金のトラブル」3位「キャリア形成」

≫ これから学びたいと思う“金融知識” 3位「生活設計」2位「保険・リスク管理」、1位は？

全回答者(1,000名)に、セミナーや学校・職場で学んだことがある“金融知識”を聞いたところ、1位「資産形成・資産運用」(9.8%)、2位「お金のトラブル」(8.2%)、3位「キャリア形成(キャリア形成に必要な力や態度など)」(7.7%)、4位「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」(7.4%)、5位「ローン・クレジットの仕組み」(6.1%)となりました。また、学んだことがない人の割合(「特になし」を回答した人の割合)は67.3%、学んだことがある人の割合は32.7%でした。

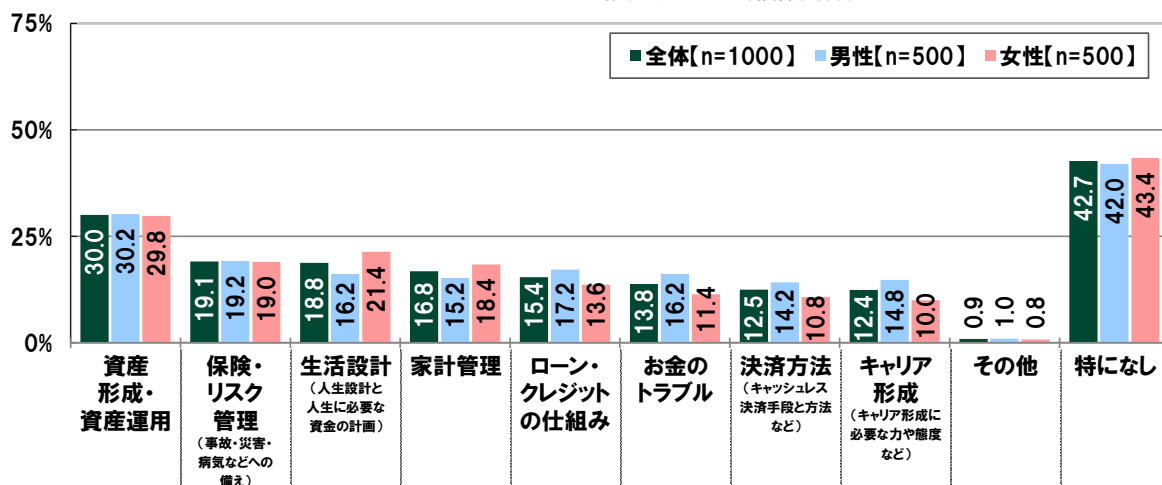
Q.セミナーや学校・職場で学んだことがある“金融知識”は？(複数回答)



これから学びたいと思う“金融知識”を聞いたところ、1位「資産形成・資産運用」(30.0%)、2位「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」(19.1%)、3位「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」(18.8%)、4位「家計管理」(16.8%)、5位「ローン・クレジットの仕組み」(15.4%)となりました。

男女別に見ると、女性では「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」が21.4%と、男性(16.2%)と比べて5.2ポイント高くなりました。

Q.これから学びたいと思う“金融知識”は？(複数回答)



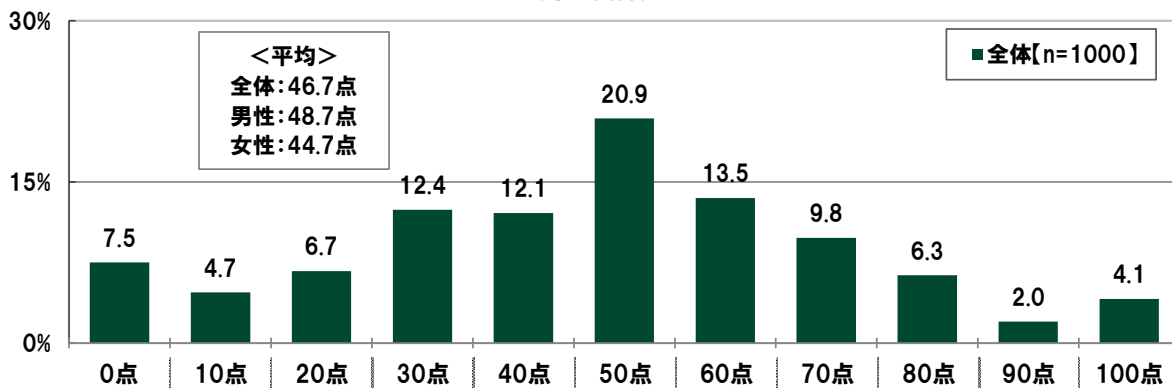
- ≫ “経済面の健康状態”を100点満点で自己採点すると？ 平均は46.7点
- ≫ 自己採点結果 “こころの健康状態”では平均は49.7点、“からだの健康状態”では平均は56.1点
経済面の健康状態が良好な人ほど心身の健康状態も良好という傾向に

続いて、経済面や心身の健康状態、日常生活に対する満足度、仕事に対する満足度、金融リテラシーのレベルに関する自己評価について質問しました。

まず、全回答者(1,000名)に、経済面の健康状態を100点満点(0点:非常に悪い~100点:非常に良い)で自己採点すると何点になるか聞いたところ、「50点」(20.9%)が最も高くなったほか、「30点」(12.4%)や「40点」(12.1%)、「60点」(13.5%)にも回答がみられ、平均は46.7点でした。

男女別にみると、男性では平均48.7点と、女性(平均44.7点)と比べて4.0点高くなりました。

Q.経済面(*)の健康状態を100点満点(0点:非常に悪い~100点:非常に良い)で自己採点すると何点になるか？
(単一回答)

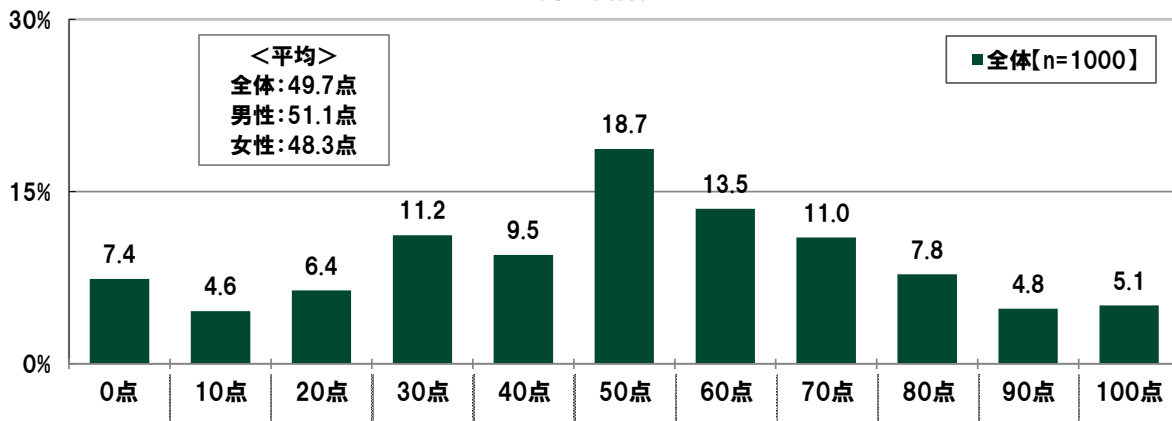


※「経済面の健康状態が良い状態とは、現在および将来の生活・暮らしを支えるお金に対する不安が少なく、経済的な安定性や安心度が高い状態を指す」との説明を提示して聴取

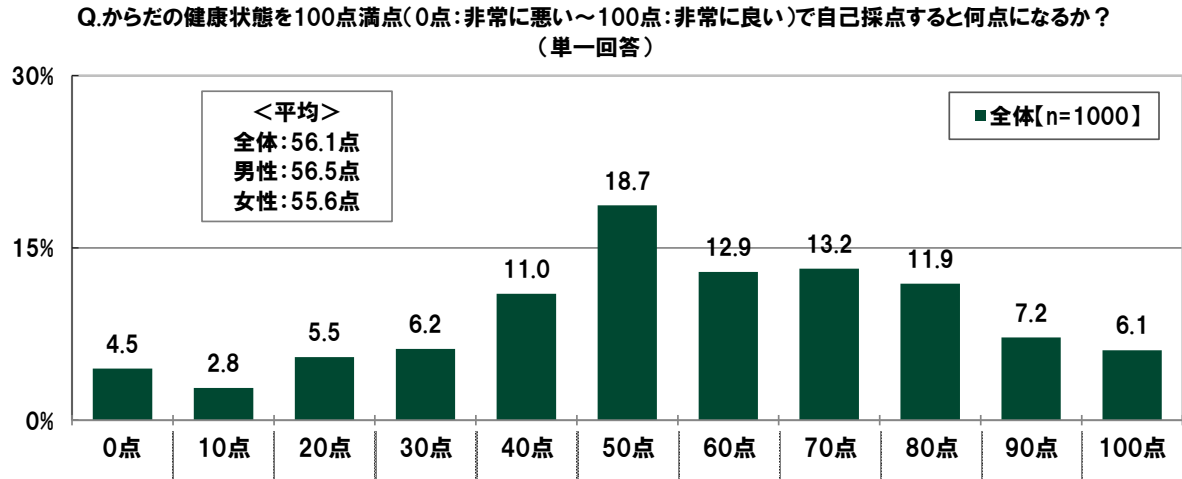
こころの健康状態を100点満点(0点:非常に悪い~100点:非常に良い)で自己採点すると何点になるか聞いたところ、「50点」(18.7%)が最も高くなり、平均は49.7点でした。

男女別にみると、男性では平均51.1点と、女性(平均48.3点)と比べて2.8点高くなりました。

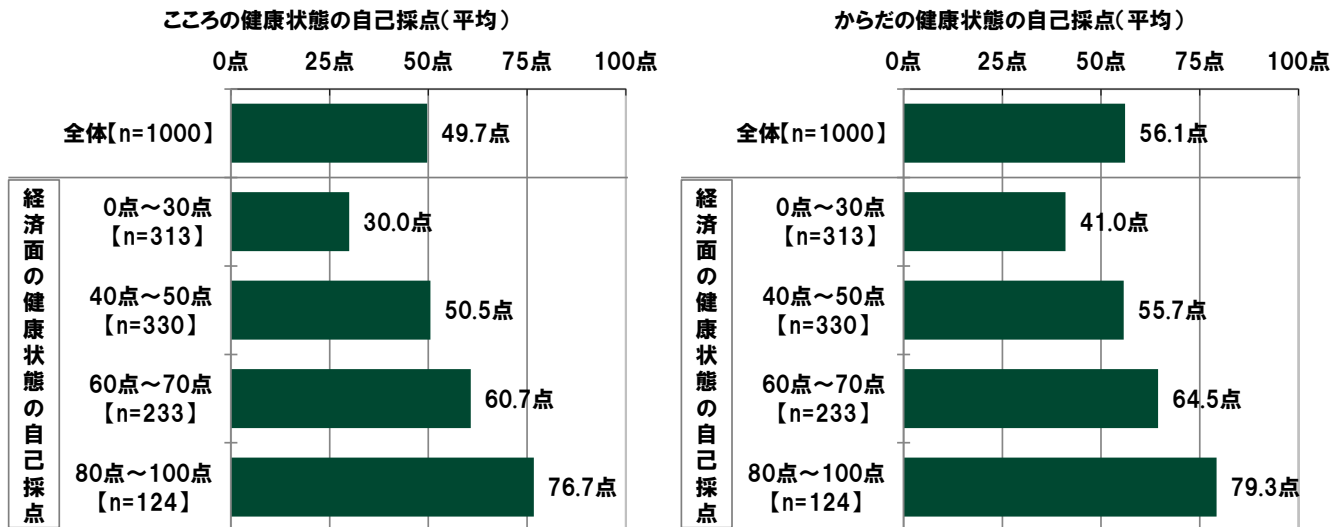
Q.こころの健康状態を100点満点(0点:非常に悪い~100点:非常に良い)で自己採点すると何点になるか？
(単一回答)



他方、からだの健康状態を 100 点満点(0 点:非常に悪い~100 点:非常に良い)で自己採点すると何点になるか聞いたところ、「50 点」(18.7%)が最も高くなったほか、「60 点」(12.9%)や「70 点」(13.2%)にも回答がみられ、平均は 56.1 点でした。



ここで、経済面の健康状態とこころの健康状態の関係や、経済面の健康状態とからだの健康状態の関係をみると、いずれも自己採点結果に正の相関がみられ、経済面の健康状態の点数が 80 点~100 点の人ではこころの健康状態の点数の平均は 76.7 点、からだの健康状態の点数の平均は 79.3 点でした。お金に対する不安がなく経済的な安心感を得られていると、心身の健康を良好に保てる傾向が高いようです。

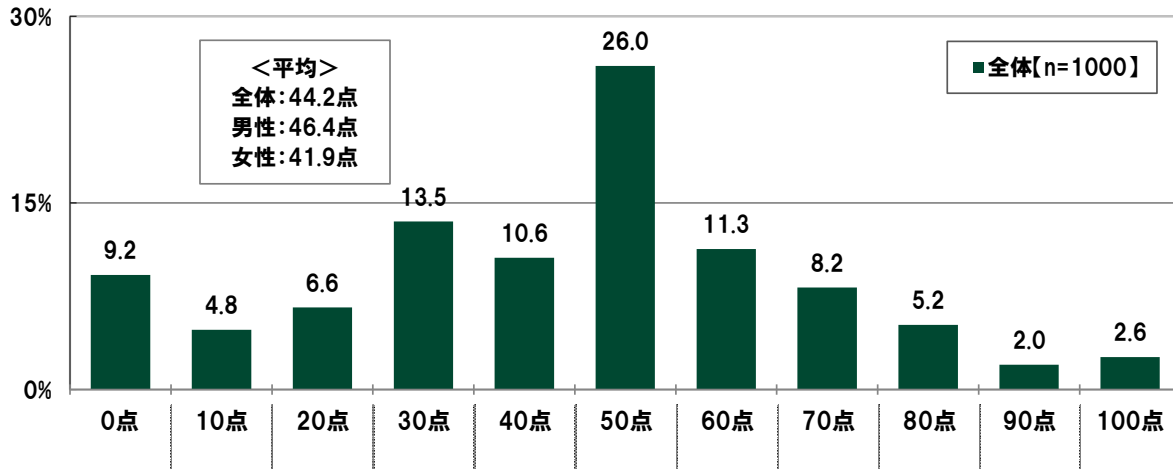


- ≫ “金融リテラシーのレベル”を100点満点で自己採点すると？ 平均は44.2点、金融知識を学んだ人では50.2点
- ≫ 自己採点結果 “日常生活に対する満足度”では平均は52.2点、“仕事に対する満足度”では平均は47.9点
- ≫ 金融リテラシーのレベルが高い人ほど日常生活や仕事に対する満足・ファイナンシャルウェルネスを実現する傾向に

全回答者(1,000名)に、金融リテラシーのレベルを100点満点(0点:非常に低レベル~100点:非常に高レベル)で自己採点すると何点になるか聞いたところ、「50点」(26.0%)が特に高くなり、平均は44.2点でした。

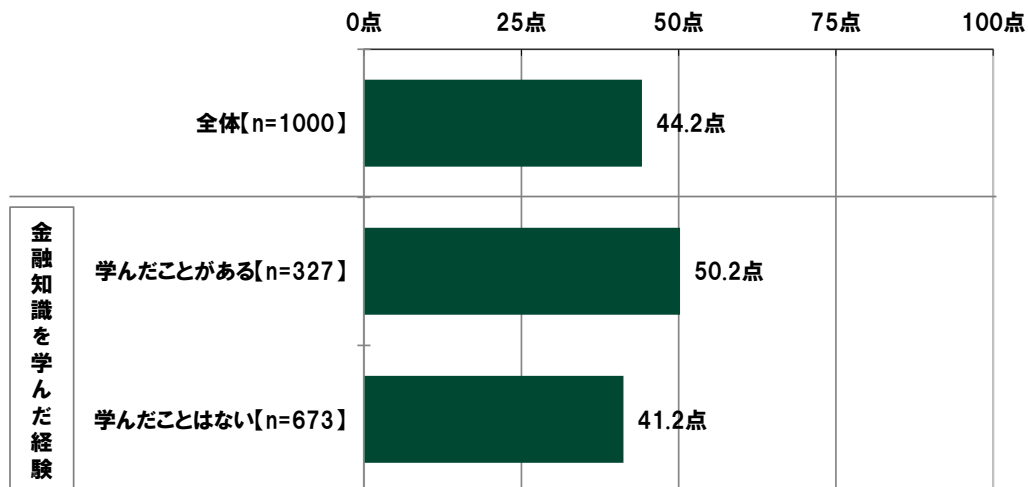
男女別にみると、男性では平均46.4点と、女性(平均41.9点)と比べて4.5点高くなりました。

Q.金融リテラシーのレベルを100点満点(0点:非常に低レベル~100点:非常に高レベル)で自己採点すると何点になるか？(単一回答)



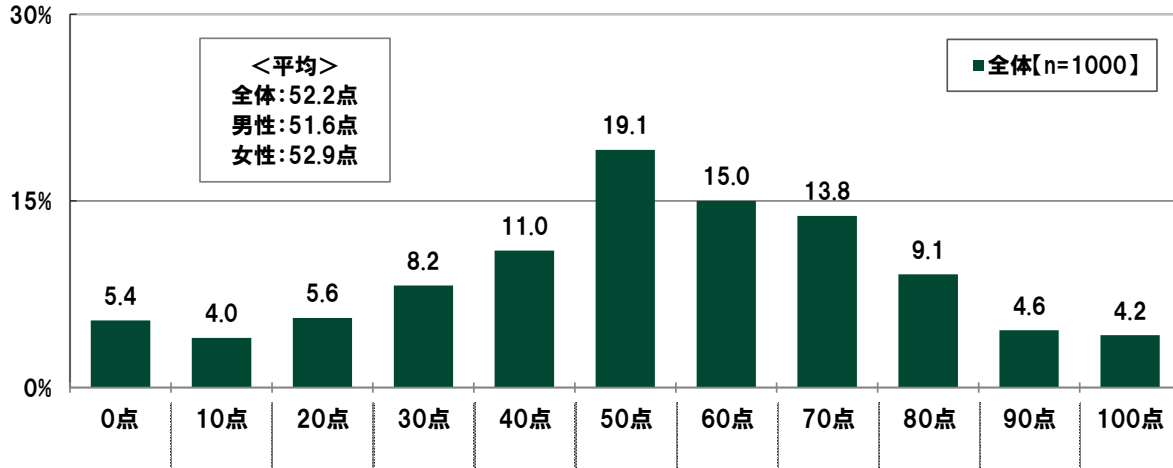
ここで、金融知識をセミナーや学校・職場で学んだ経験別にみると、金融知識を学んだことがある人では、金融リテラシーのレベルの点数の平均は50.2点と、金融知識を学んだことがない人(41.2点)と比べて9.0点高くなりました。セミナーや学校・職場で金融知識について学んだ経験が、金融リテラシーのレベルの向上につながっているのではないのでしょうか。

金融リテラシーのレベルの自己採点(平均)



また、日常生活に対する満足度を 100 点満点(0 点:非常に不満~100 点:非常に満足)で自己採点すると何点になるか聞いたところ、「50 点」(19.1%)が最も高くなったほか、「60 点」(15.0%)や「70 点」(13.8%)にも回答がみられ、平均は 52.2 点でした。

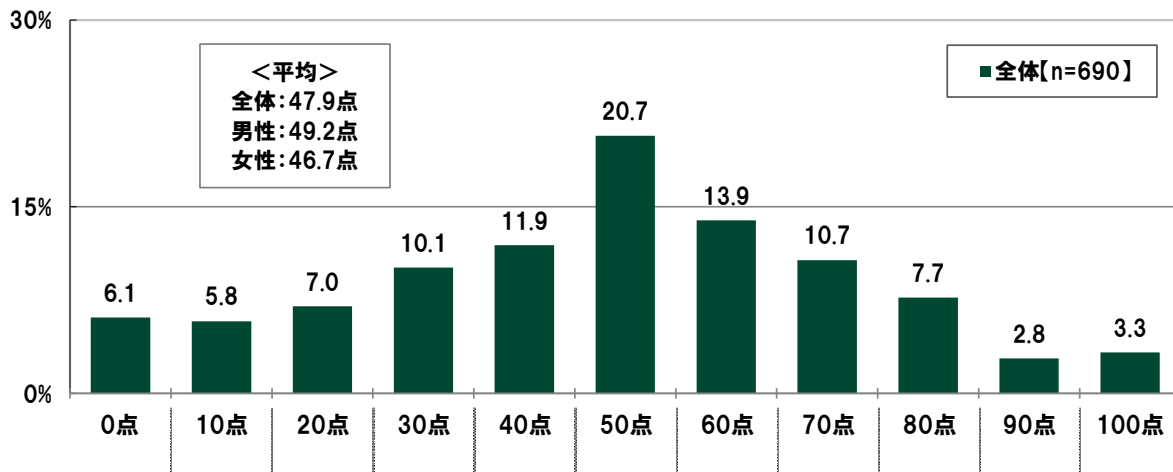
Q.日常生活に対する満足度を100点満点(0点:非常に不満~100点:非常に満足)で自己採点すると何点になるか?
(単一回答)



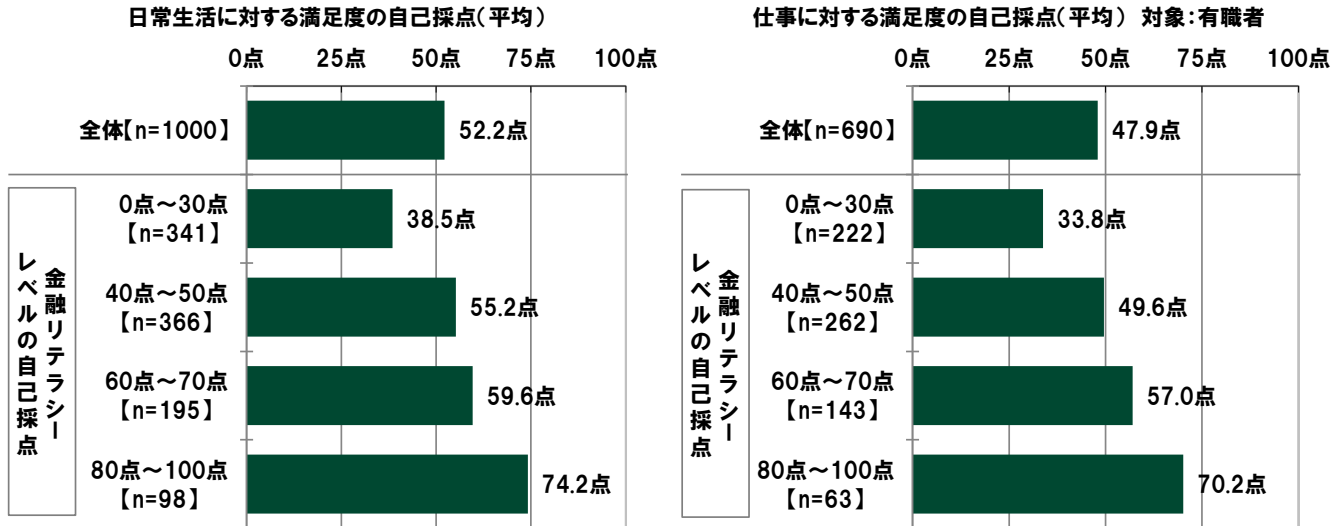
有職者(690名)に、仕事に対する満足度を 100 点満点(0 点:非常に不満~100 点:非常に満足)で自己採点すると何点になるか聞いたところ、「50 点」(20.7%)が最も高くなり、平均は 47.9 点でした。

男女別にみると、男性では平均 49.2 点と、女性(平均 46.7 点)と比べて 2.5 点高くなりました。

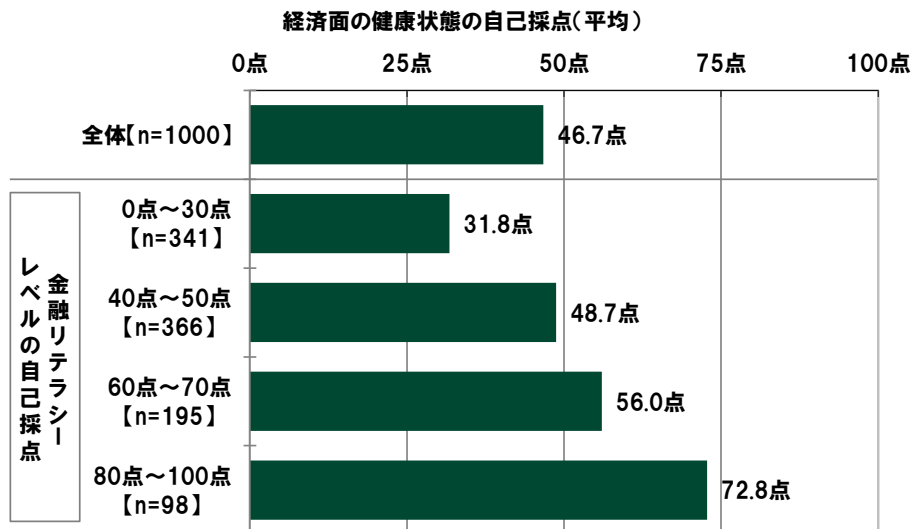
Q.仕事に対する満足度を100点満点(0点:非常に不満~100点:非常に満足)で自己採点すると何点になるか?
(単一回答) 対象:有職者



ここで、金融リテラシーのレベルと日常生活に対する満足度の関係や、金融リテラシーのレベルと仕事に対する満足度の関係を見ると、いずれも自己採点結果に正の相関がみられ、金融リテラシーのレベルの点数が 80 点～100 点の人では日常生活に対する満足度の点数の平均は 74.2 点、仕事に対する満足度の点数の平均は 70.2 点でした。



また、金融リテラシーのレベルと経済面の健康状態の関係を見ると、自己採点結果に正の相関がみられ、金融リテラシーのレベルの点数が 80 点～100 点の人では経済面の健康状態の点数の平均は 72.8 点でした。金融リテラシーのレベルが高いと、日常生活や仕事に対する満足度が高くなるだけでなく、ファイナンシャルウェルネス(現在および将来の生活・暮らしを支えるお金に対する不安が少なく、経済的な安定性や安心度が高い状態)の実現にもつながるようです。



≫ 金融知識についての理解度を 100 点満点で採点 平均は 54.2 点

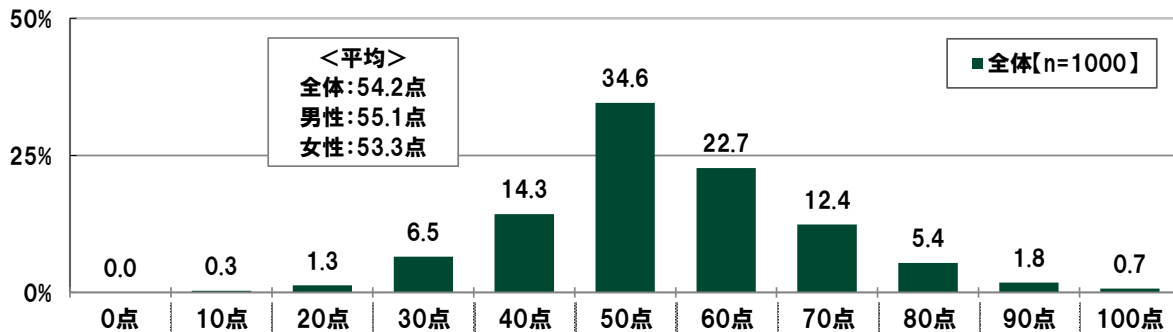
最後に、全回答者(1,000 名)に、金融知識に関する複数の記述を提示し、それぞれについて内容が正しいと思うか、誤っていると思うかを聞いた結果をまとめました。

金融知識に関する記述

老後資金は、世帯の構成や年金の支払状況に関係なく、65歳時点で1人当たり2,000万円程度用意すればよい	×
大学(屋間部)の学生のおよそ10人に1人が、何らかの奨学金を受給している	×
分散投資の手法として、購入時期を分散することや銘柄を分散することが挙げられる	○
業務上の病気やケガで治療・休業などが必要になったときのために雇用保険がある	×
2022年度の社会保障費については、「年金→介護→医療」の順で給付金額が大きい	×
25歳で、健康保険に加入している場合、一般的な医療費負担額は3割である	○
国民年金は、20歳から加入が義務付けられている	○
金利が上がっていくときには、資金の運用(預金等)については固定金利の選択、資金の借入れについては変動金利の選択が、適切な対応である	×
介護保険の保険料を支払うのは40歳からである	○
消費者信用とは、個人に対してお金を貸したり、商品を先に渡し、支払いを後に受けるサービス等のことである	○

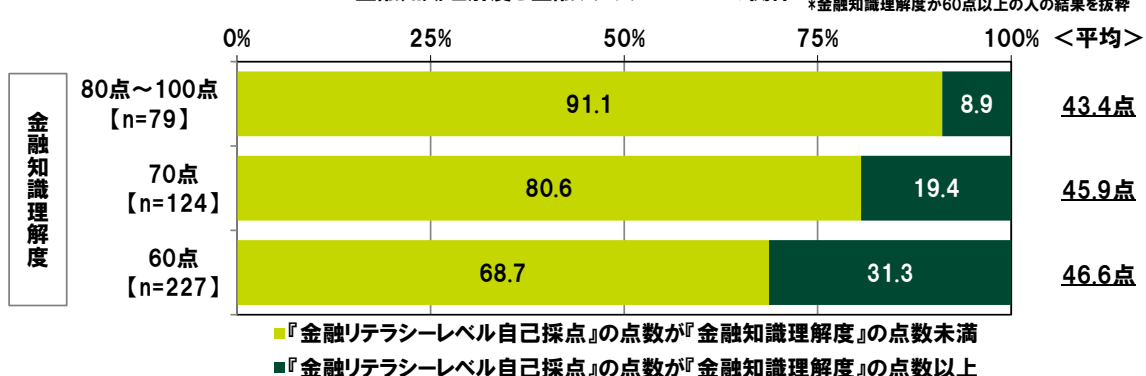
1 問正答につき 10 点で合計点を算出した結果をみると、「50 点」(34.6%)が最も高くなり、平均は 54.2 点でした。男女別にみると、男性では平均 55.1 点と、女性(平均 53.3 点)と比べて 1.8 点高くなりました。

金融知識についての理解度(点数算出結果)



金融知識理解度が平均(54.2 点)を上回った人(金融知識理解度が 60 点以上の人)について、金融知識理解度と金融リテラシーレベルの関係を見ると、『金融リテラシーレベル自己採点』の点数が『金融知識理解度』の点数以上となった割合は、金融知識理解度が 80 点~100 点の人では 8.9%、70 点の人では 19.4%、60 点の人では 31.3%で、『金融リテラシーレベル自己採点』の点数の平均は金融知識理解度が 80 点~100 点の人では 43.4 点、70 点の人では 45.9 点、60 点の人では 46.6 点でした。知識が備わっているものの自身の金融リテラシーに自信を持っている人が少ないことをうかがえる結果となりました。

金融知識理解度と金融リテラシーレベルの関係



《調査概要》

- ◆調査タイトル : 20代の金銭感覚についての意識調査 2024
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～29歳の男女
- ◆調査期間 : 2023年12月13日～15日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル

(内訳)	20代前半	20代後半
男性	250	250
女性	250	250

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本リリースの内容の転載にあたりましては、
「SMBCコンシューマーファイナンス調べ」と付記のうえ、
ご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
 担当 : 広報サステナビリティ推進部 岡田、平、田中
 TEL : 03-6887-1274
 Eメール : corporate_info@smbc-cf.com
 受付時間 : 9時00分～17時30分(月～金)

■■会社概要■■

会社名 : SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
 (英訳名 SMBC Consumer Finance Co., Ltd.)
 設立 : 1962年(昭和37年)3月20日
 代表者名 : 金子 良平
 所在地 : 東京都江東区豊洲二丁目2番31号
 事業内容 : 貸金業・保証業